



1998年度 部報

力漕

Vol. 6

WILD ROVER CREW

同志社大学体育会漕艇部

一緒に暮らす、セキスイと。

SEKISUI

伝えています。
大切なものの、
あつたかい気持ち。

地球の未来、人間の明日へ。
いま私たちにできることは、
すばらしい環境をしっかりと守つて
残していくこと。
美しい自然が与えてくれる温もりや
みずみずしさをずっと伝えていくことだと
セキスイは考えます。



セキスイは、暮らしの視点で
環境にやさしい製品を開発しています。

省エネルギー

- 太陽光発電システム
- 高断熱・高気密住宅
- 夜間電力使用の
蓄電池装置

リサイクル

- ごみ省力回収システム
- オフィス紙ごみ分別容器
- リサイクルカート
- ゼロエミッション工場づくり

環境保全

- 生活排水処理の
集中合併処理浄化槽
- ディスパーザによる
生ごみ処理システム
- 真空下水道システム
- ガス化焼却炉

積水化学工業株式会社

〒530-8565 大阪市北区西天満2-4-4(堂島閣電ビル)
ホームページアドレス <http://www.sekisui.co.jp/>

◎積水化学は、経団連自然保護基金を通じて、アジアのさまざまな自然保護活動を支援しています。

部報

力漕

《目 次》

ご挨拶	1
新シーズンに向けて 寄稿 コーチングスタッフ	2
現役部員	4
1998年度 活動報告	
年間スケジュール	14
出漕クルー一覧	15
年間成績一覧	17
会計報告	30
特集	
ある一回生の一日	31
卒業生のことば	34
お知らせ	
ご結婚・お悔やみ	39
伝言板	40
名簿	
卒業生名簿	47
現役部員	48
編集後記	50

ごあいさつ

ボート部部長 岡本 博公

「力漕」第6号の刊行の運びとなりました。誌上からではありますが、日頃から御指導いただいてます、諸先輩の皆様に心からお礼を申し上げます。

さて、かけがえのない仲間を失ったあの痛恨の事故から一年半、私達は二度とこのような事故を起こさないために、反省と安全のための活動を重ねてきました。

昨年8月1日には、合宿所横に故田中範興君の慰靈のレリーフ「友よ 永遠に」を設置し、田中君を偲ぶとともに、この事故の悲しい思いと教訓を胸に刻み続けることを誓いました。

率直に言って、昨年度私は同志社の艇が水の上に浮かんでいるだけで、それで良いという気分でした。一生懸命練習し精進、努力して部を支えてきた皆さん、あるいは彼ら彼女らを指導された監督、コーチ、諸先輩には少し申し訳ない気分かもしれません、まずは無事にシーズンを終えることができ、ほっとしています。もちろんこういう年だからこそ好成績を残してくれれば、という淡い期待はないわけではなかったのですが、しかしそれ以上に、「まずは、無事に」各レースに出漕でき、完漕（出漕すれば完漕は当たり前でしょうが、あえてそう言いましょう）できて良かったと思っています。4回生を中心に主将、主務を軸に、現役部員はいろいろの困難をよく乗り越えてくれたと思います。

「力漕」の刊頭では異例なことでしょうが、今回はわがままをお許しいただき、この場を借りてとくに卒部し、卒業していく諸君の労をねぎらいたいと思います。

卒部し、卒業していく皆さん、おめでとう。そして、ありがとうございます。

新シーズンに向けて

1999年度コーチングスタッフ

監督 山口 忠博(S52年卒 商)

艇友会の皆様には、現役部員へのご支援、ご援助等でお世話になりありがとうございます。また、部員各保護者の皆様におかれましても、ボート部活動にご理解いただきありがとうございます。

私が前任の田中重次郎先輩から監督を引き継ぎ、コーチの堀内昭宏氏と共にスタートして、早くも6ヶ月目に入りました。

この間の凍てつく寒さの中、北谷主将、小松主務体制の現役部員は、わずかな正月休みを除いて、大学での講義をはさんだ早朝、夕方の練習という合宿生活のサイクルを継続するとともに、11月中旬から12月にかけては、各自の講義の空き日を利用して合宿資金調達のための「アルバイト」も実施しております。また、1月下旬から2月中旬の「テスト期間」も、練習と並行して対応するなどハードな生活を精力的にこなしてまいりました。そして、部員にとって本当の意味での合宿は2月中旬からスタートしたのです。

このように彼らは、多様な学生生活形態からあえてハードな「競技スポーツ」であるボート部で活動することを選択しているのです。

私は、このような学生の意志を尊重、信頼し、彼らと接していくたいと思います。一方、近年のスポーツ科学的研究（ボートに関する技術、体力、練習法も含む）の発達によって、その情報が氾濫交錯する現在、我々指導スタッフは、部員が戸惑うことのないようスポーツ科学に対する知識を深めることにより、多種多様な情報の中から「今の同志社 ROWING」にとって、真に必要な情報（まず取り組むべき内容）を的確に読みとり学生に詳解する事は当然のこと、時にはあえて、スポーツ科学では非常識とされる内容に取り組まなければならぬかもしれません。

とにかく、まず原点に戻り下肢を充分に活かした「長く強いストローク」を各人が安定して漕げること。そのためには、正確で迅速なリカバリーとハンズアウェイ、そしてフォワードトップでのシャープなブレードインとレッゲドライブへとスムースに、かつ力強く移行する技術を習得することが必要であり、現在取り組んでいるところです。

これらの各ポイントは基本であっても、習得に時間を要するところであり、あせることなく、着実に前進していきたいと考えております。

艇友会員ならびに保護者の皆様、今後ともご支援、ご指導をよろしくお願い致します。

コーチ 堀内 昭宏(H6年卒 商)

平素は、OBの皆様には物心両面で御支援を頂きましてありがとうございます。これまで、同志社大学ボート部を見守って頂いた諸先輩方から、引き継ぎ、この度、1999年度コーチに就任いたしました。私は5年近くものボートから離れていましたが、やっぱりボートからは離れられない人間のようです。

目標は関西学生王者を奪回し、戸田に乗り込む事。明確且つ当たり前の目標かもしれません。成し遂げるのは、コーチ、監督ではなく、学生自身なのです。私はそれを達成する為精一杯の手助けをする。目標が明確であればある程、やることは決まっています。

1つ重要なのは、それぞれのハートです。皆が、その目標を本当に達成したいのか、絶対に勝ちたいのか、誰が一人でも、ほんの少しでもあきらめたり、妥協したりしては、勝つことは不可能です。結果だけを期待したり、行き当たりばったりでは、目標は達成できません。このハートがなければいくら練習を積んでも、道具を変えても何にもなりません。これを学生が自覚し実行する事、私もそれに答える事。

山口新監督と共に頑張っていきます。今後とも宜しくお願ひします。

《現役部員》

<新4回生>

主将 北谷 充



野猿が岡山王国を逃げ出し3年が過ぎようとしている。母国の猿山に胸を張って帰れるのは、いつなのか? 猿のコンセプトは、「ENJOY ROWING」である。樂をする意味ではもちろんない。どんなにつらくどんなに嫌な練習も「TAKE IT EASY」楽しく考えることである。これが猿達の一番の上達技術だと考える。もっと自分を楽しくいじめる。ALL MEN 用意 ROW。

主務 小松 正彦



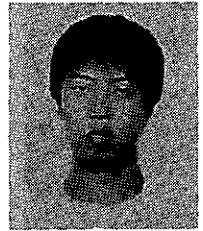
ボートを始めて6年目にして艇を降りることになった。これは自分にとって、つらい決断であった。主務となり3ヶ月が過ぎ、今までとは違う視野でボートというスポーツを見なければならない。主務とは何をすべきなのだとということを常に考えてきた。様々なことが頭に浮かんだが、答えが出たわけではない。しかし、その答えは対校エイトの艇速を上げるために必ずつながる。そう信じてこの3ヶ月間過ごしてきた。そしてこれからもそれを信じ、答えを探していくつもりだ。自分のした決断は正しかったと、本当に思える日が来る信じ、日々過ごしていきたい。

副将 高橋 輝



いよいよ最終学年。この3年間ボートという競技で大学生活を過ごしてきた。こうして打ち込んできた競技だからこそ結果がほしい。もっと、もっと同志社大学ボート部に誇りを持ちたい。ただの思い出で終わらせるのではなく、自分とこの部のために、より一層努力することをここに誓う。

副務・学連・トレーナー 大山 智司



今の同志社は残念ながら強いチームとは言えない。その原因是技術もさることながら、体力的なことも大きいと思う。私は今年、トレーナーという役職に就いたので、この体力的な面を強化していきたい。また、副務としてチームをしっかりとサポートして、良い結果が残せるようクルーとともに頑張っていきたい。

副務・会計 若杉 圭



去年の夏、4回生が引退し僕も最上回生となつた。今までの成果を考えてみると、個人的にも部全体としても思うような成果が得られなかつた。努力の割にはそれがなかなか報われず、何のために毎日苦しい練習をしているのか分からなくなつてくる。毎年最上回生はなぜ勝てないのかを考え、新しい方針を立てて頑張ってきたはずだが、ここ数年の低迷を思うと、もっと根本的なものを見直さなければならない。

実際の練習は現役で頑張っている部員達に任せるとして、マネージャーとして何ができるのかを考えてみる。以前は会計の仕事はただお金を管理するだけで、それほど部の活動に影響するものではないと思っていたが、実際にみて部に対する責任の重大さに気づいた。お金は部の全ての活動の元になるものであり、その集め方、使い方が活動内容にそのまま現れてくる。自分の仕事が部の方向を左右することを自覚して、これからも頑張っていきたいと思う。

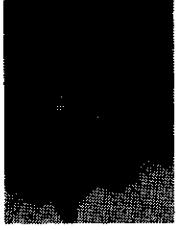
亀井 健治



今年はぎりぎりまで小艇による漕ぎ込みを行つたので、例年になく基本的な技術力が向上したと思う。この水準を維持、さらには向上を2、3、4月できれば、体力的にも恵まれているから今シーズンは強くなれると思う。これからも気を抜くことなく頑張ろうと思う。



赤坂 知紗



田中 真由子

時は恐ろしくも正確に刻まれ、私達が最上回生となりました。ふと立ち止 石山から合宿所まで歩いていくのが私は結構好きで、1回生の時から歩け
まつた瞬間、入部当時の初心に舞い戻っていた自分が、今では私の中でよ るときはそうしてきました。私の足で30分はかかります。毎日風景は変わ
やく見え始めたマネージャーに一步でも近づこうと、前に向かっているこ めませんが、私自身はいつも違っていて、何も考えずにボ一と歩いて気が
に気が付きます。

私がこのように思えるのは、ボート部で出会った多くの尊敬する先輩方のくいろいろです。その距離は長かったり短かったりその日によって違いま
おかげだと感謝しています。自分を見失い、悩みあぐねていた頃届いた手紙に、心の中で何か吹っ切れたものを感じ、背中を押してもらいました。本当に変わりました。でもこれは突然こうなったわけではありません。歩
た。また、たわいない世間話からも私が考えさせられたことがあります。いる中のいろんな自分がいて今の私になったのです。そんなきっかけを特に「マネージャーが艇を走らせる」というお話は、いつも私の支えとな えてくれたのはボート部でした。
ています。私もそんな先輩になりたい、ならないどと思い、自分自身にプリ ボート部での生活もあと一年を切りました。その残された時間の中で、自
ッシャーをかけています。

この瀬田での冬を乗り切ると、最後のシーズンが始まります。去年の夏、のために精一杯頑張っていきたいと思っています。
戸田で「ついていきますから。」と言ってくれた後輩に、「ありがとう。」と言える日まで、努力していきたいです。

石山から合宿所まで歩いていくのが私は結構好きで、1回生の時から歩け
まつた瞬間、入部当時の初心に舞い戻っていた自分が、今では私の中でよ るときはそうしてきました。私の足で30分はかかります。毎日風景は変わ
やく見え始めたマネージャーに一步でも近づこうと、前に向かっているこ めませんが、私自身はいつも違っていて、何も考えずにボ一と歩いて気が
に気が付いたら着いてたということもあるし、楽しくしてたり、悩んでたりと
付いたら着いてたということもあります。その日によって違います。

今までを考えてみると外見はそう変わらないとは思いますが、中身は本
通の手紙に、心の中で何か吹っ切れたものを感じ、背中を押してもらいました。でもこれは突然こうなったわけではありません。歩
た。また、たわいない世間話からも私が考えさせられたことがあります。いる中のいろんな自分がいて今の私になったのです。そんなきっかけを

特に「マネージャーが艇を走らせる」というお話は、いつも私の支えとな えてくれたのはボート部でした。
ています。私もそんな先輩になりたい、ならないどと思い、自分自身にプリ ボート部での生活もあと一年を切りました。その残された時間の中で、自
ッシャーをかけています。

分

がどんな風に変わるのが楽しみです。また、そんな中でも変わらない思い

い

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う



殷 麻衣



井口 順太

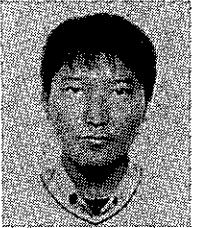
力漕の原稿を書くのも3回目となり、最上回生となりました。入部したは 問題児だった僕を見捨てずに面倒見て下さった4回生の方々には、本当に
かりの頃と今とは大きく意識が変わったように感じます。部の状況も見えて感謝しています。また昨シーズンは惨めな結果しか残せませんでしたが、今
きて仕事も増えてくると、やりがいを感じると同時に、部における女子マネージャーの存在意義という壁にぶつかってしまい、悩むこともあります。
実際にボートを漕いでいるわけでもなく、合宿所生活もしていない私には、
漕手の気持ちが理解できない気がしてつらいです。自分なりの目的意識を持
っている漕手に対し、明確な目標を持てない女子マネージャーと言う立場は、
どちらかがなくて、自分のことが分からなくなります。でも、普通の学
生では考えられないような生活をして、毎日練習をしているみんなを尊敬し
ているし、同志社が勝つことが何よりうれしいから、女子マネージャーをし
ていて良かったと思います。

最後のシーズンは、漕手が自分の目標に近づけるように、それから私が瀬田に来て早2年の月日がたとうとしている。母校の活躍だけを耳にする
によく頑張ったと言えるように頑張っていきたいと思います。

ばかりだった。来年は後輩も入ってくる。いよいよ勝負の年である。もう言
い訳など言ってられないし、あともない。とにかくやるしかない。そして、
夏には戸田で笑顔でいたい。



末廣 恭一



銭谷 剛志

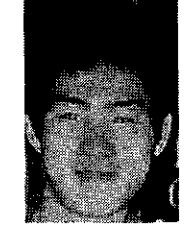
早いもので今年で3シーズン目を迎えるようとしています。昨年は新しい同志社としての1年目の年であり、数々の貴重な経験を積むことができました。今年はさらなる飛躍を目指し、頑張っていきたいと思います。



高橋 敏

同志社大学ボート部に入部して、もう2年が過ぎようとしている。この2年間は決して誇れるものではない。挫折の連続だった戸田では、高校のライバルが活躍している。今の自分は見ているだけしかない。このままで終わるものか、必ず復活してやる。決してあきらめない。周りの人間に俺の力を思い知らせてやる。

—俺は夢と希望は絶対に捨てない—



吉田 亮

漕手としての理想があるように、舵手としての理想もある。COXになつて以来、この部における自身の存在意識と責任の大きさに戸惑い、漕手を育てるこの難しさを痛感している。その中で私は私なりにあるべき姿を目指している。「吉田が乗れば走る。」漕手の頃いろいろな夢を持っていたが、今はただそんな名COXになりたいと思う。



菊山 峰子

昨シーズンは、追悼文集の作成やインカレでの仕事を通じて、マネージャー業の楽しさと大変さを教えられた気がする。

いつも前向きな姿勢を忘れず、笑顔を絶やさず、ボートへの思い入れは誰にも負けない、そんな女子マネに私はなりたいと思う。そして、同志社大学ボート部の勝利を信じて、今シーズンも一生懸命がんばりたい。



田中 範興



津田 弥紀

2回生ももう終わりに近づき、改めて時の流れの早さを実感しています。1回生の頃は、右も左もわからないままひたすら頑張ってきた、という感じでしたが、2回生としてのこの1年間は、ようやく自分がどういう仕事をしているのか、クラブのためにどうすればいいのか、どのようにしていきたいのかということを考える余裕が出てきたように思います。回が上がるにつれ、責任も重くなっていますが、精一杯頑張って、少しでも勝利に貢献できるようになりたいと思います。



宮本 健吾

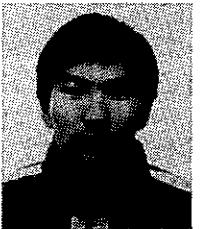
今シーズンを迎えるにあたって、基礎からしっかりと見直し、1本1本集中して漕いでいきたい。そして自分の満足いく結果が得れるように頑張ろう。



中嶋 紗恵子

マネージャーとしてこのボート部で過ごすこと2年。いつまでたっても思
うのが、漕手、マネージャーを問わず全ての人が真剣勝負のこのクラブでは、延々に乗ってはケガをして、試合に出られなかつたシーズンだった。高校時代
いつも全力で臨まなければ押しつぶされそうになる、ということです。月日それなりにやってきた自分には、大きな挫折だった。
が余裕を生み出してくれるなどと言うことはありません。しかし、少しでも
漕手の役に立ちたい、その思いこそ私の原動力であり、これからも変わること
なく私を動かしていくだろう。漕手が勝って嬉しいとき、私も嬉しいと思
えるのだから。

<新2回生>



坂本 暢裕



菅野 浩平

大学に入学したらサークルとバイトに明け暮れ、遊びほうけてやると誓つ
たのに、友人の勧誘がきっかけでただ一度だけならと見学に来たのが、僕の
人生の大きな誤りとなつた。練習に苦しみ、雑用に追われ、消灯に焦りながらと思うことも度々ある。でもいまさら何を言つても始まらない。やるしか
な
らシャワーを浴び、起床におびえながら眠りにつく。そんな仙人みたいな生
活だが、そういう厳しい生活でしか手に入らない貴重な何かがあるはずだ。
サークルでは得られない、貴重な何かを。その何かを求め、今日も僕は修業も仕事としているマネージャーさん達のために勝ちます。
中。



岸本 光洋

僕がここで汗を流していられるのも、苦しんだり、悩み続けたりできるの必ず頂点に立つてみせる。」
も、数多くの人間の支えがあつてこそだと思っている。「自分のために頑張りそこでボートをすることは出来なかつた。
る」これこそが、自分を支援してくれている皆への感謝の気持ちと思い、日
々の苦しい生活に耐え抜きたいと思う。

この1シーズンは私のボート生活の中で、最も悔いの残るシーズンだった。
この1シーズンは私のボート生活の中で、最も悔いの残るシーズンだった。高校時代
それなりにやってきた自分には、大きな挫折だった。
その悔しさをばねに、今は今シーズンに向けて取り組んでいる。インカレ
コース後の自分の姿を思い浮かべながら。

竹内 悠



ボート部に入部して1年が過ぎようとしている。あつという間の1年だつ
た。この1シーズン良いことは何一つなかつた。高校時代に勝っている奴に
何度も負けたり、戸田で関西高校同期の仲間が、活躍しているのを見て悔し
い思いをしてきた。

「選択を間違えたのかもしれない。中央や早稲田にしとけば良かった。」
でもいまさら何を言つても始まらない。やるしか
な
らシャワーを浴び、起床におびえながら眠りにつく。そんな仙人みたいな生
活だが、そういう厳しい生活でしか手に入らない貴重な何かがあるはずだ。
直接会つたことはないが、亡くなつた田中さんや田中さんのご家族、いつ
も僕は修業も仕事としているマネージャーさん達のために勝ちます。

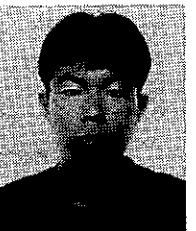


所 浄伸



高校時代ボートを漕いでいたが、勝利には全く無縁であった。「大学では
ここまでしてなぜボートを続けるのか分からぬか。それが分からないからボートを続けている氣もする。

山田 篤



同志社大学ボート部に入部してもう半年以上の月日が流れた。合宿生活と日本大学生は、遊びすぎだと言われています。私もそう思っていたので、い特殊な環境の中に飛び込んで、初めは分からぬことだらけで大変な試乗会に来たときに、少なからぬショックを受けました。そして、私もこのいをしたが、少し余裕が生まれてきた今、振り返ってみると入部して良かアラブで4年間頑張ってみよう決めてから、あつという間に半年が過ぎましたという気持ちになる。昨年、予備校に行く電車の中から毎日見かけた戸田さん。本来、部員をサポートするべき立場にいる私が、逆に、部員達のボート漕艇場のオアーズマン達。彼らが1つの目標に向かってボートを漕いでいるに対する前向きな姿勢や情熱に励まされる毎日です。今はまだ、与えられ姿は大変輝いており、彼らの顔は何か自信に満ちているようにさえ思われた仕事も満足にできず、先輩方にご迷惑をおかけする毎日ですが、経験を積そんな彼らのことをうらやましく感じるようになり、自分もボートをやつめ重ね、ボート部の力となれるよう努力していきたいと思います。

木村 理恵子



ボートが漕ぎたくて飛び込んだ男の世界にも慣れ始め、早1年が過ぎよとしている。始めて半年になるスカルでは多くの経験を積むことが出来ましたが、来シーズンに向けての目標をしっかりと認識する時ともなりました。

ここまでこれたその陰で支えて下さった全ての人々に心から感謝をし、勝戦を1位で通過することでそれを表したいです。

女子部設立するためにも、努力していきたいと思います。

井上 尚子



確かに自分がマネージャーだなんて、大きい声では言えません。まだまだ自覚だと気遣いだと足りないものはたくさんあって、マネージャー慣れていないせいなのか、それとも私自身この仕事には向いていないのか。戸惑いの連続で、先輩方にも迷惑をかけっぱなしの状態です。たとえ不向きだろうが何だろうが、自分でやろうと決めたことですから、頑張りますよ、私は。いまだに私がマネージャーであることを信じてくれない多くの友人達を見返してやるためにも。

森田 祥子



《年間スケジュール》

97. 8. 19	幹部交代
9. 1 ~ 12. 6	週一回の安全対策会議 (安全対策マニュアル作成) 以下毎月8日は安全確認日
12. 13	田中範興君慰靈葬 (於 今出川チャペル)
12. 14	合宿所入り
12. 26	納会
98. 1. 6	練習再開
1. 31	同志社スポーツユニオン祝勝会
2. 11	同志社艇友会総会・卒業生送別会
2. 12 ~ 25	遠征合宿 (於 高知県立青少年センター)
3. 1	出漕式・乗艇開始
3. 20 ~ 21	卒業式
4. 1 ~ 7	オリエンテーション期間 田辺校地にて新入部員の勧誘活動
4. 4	新入生試乗会・ 新入生歓迎バーベキュー大会
4. 11	"
4. 18	"
4. 25	試乗会
5. 2 ~ 5	朝日レガッタ (於 琵琶湖漕艇場)
5. 30 ~ 31	新人ナックルレガッタ (於 琵琶湖漕艇場)
6. 5 ~ 7	中日本レガッタ (於 愛知池漕艇場)
6. 6 ~ 7	フレッシュマンキャンプ (於 アヤハレイクサイドホテル)
6. 14	あみ定杯
6. 21	新入生歓迎コンペ 新入部員 一回生 9名
6. 28	京都府国体予戦
7. 24 ~ 26	関西漕艇選手権大会 (於 琵琶湖漕艇場)
8. 1	田中範興君一周忌追悼式
8. 8	田中範興君一周忌
8. 17 ~ 23	戸田合宿
8. 20 ~ 23	全日本大学選手権大会 (於 戸田漕艇場)
8. 24	戸田にて解散

《出漕クルー一覧》

朝日レガッタ

(対校エイト)

S	坂	健	小松	正彦
7	口	毅	松谷	剛志
6	橋	恭	本	光洋
5	高	智	内	悠吾
4	末	忠	本	健
3	大	健	橋	輝亮
2	寺	輝	宮	一馬
B	宮	充	吉	健治
C	高	智	空	
	北	彦	田	
	谷		亀	
			井	

中日本レガッタ

(J r . エイト)

S	坂	小松	正彦
7	口	錢谷	剛志
6	橋	本	光洋
5	高	内	悠吾
4	末	本	健
3	大	橋	輝亮
2	寺	宮	一馬
B	宮	吉	健治
C	高	空	
	北	田	
	谷	亀	
		井	

唐橋杯 (あみ定杯)

(対校エイト)

S	坂	健	小松	正彦
7	口	恭	松谷	剛志
6	橋	一	本	順太
5	高	悠	内	圭
4	末	健	竹	智
3	大	忠	宮	司
2	寺	順	本	健治
B	宮	太	寺	
C	高	輝	若	
	北	充	杉	
	谷	智	大	
		彦	亀	

(フォア)

S	坂	健	小松	正彦
3	口	恭	松谷	剛志
2	橋	一	本	順太
B	高	悠	内	圭
C	末	健	竹	智
	大	忠	宮	司
	寺	順	本	健治
	宮	太	若	
	高	輝	杉	
	谷	充	大	
		智	亀	

S	坂	健	小松	正彦
3	口	恭	松谷	剛志
2	橋	一	本	順太
B	高	悠	内	圭
C	末	健	竹	智
	大	忠	宮	司
	寺	順	本	健治
	宮	太	若	
	高	輝	杉	
	谷	充	大	
		智	亀	

新人ナックルレガッタ

S	所	淨	小松	正彦
3	吉	伸	松谷	剛志
2	田	忠	本	順太
B	山	道	内	圭
C	木	篤	竹	智
	村	理	宮	司
	高	恵	本	健治
	橋	子	寺	
			井	
			和	
			泉	

京都漕艇選手権 兼 国体京都府選考会

(フォア)

S	坂	健	小松	正彦
3	口	恭	松谷	剛志
2	橋	一	本	順太
B	高	悠	内	圭
C	末	健	竹	智
	大	忠	宮	司
	寺	順	本	健治
	宮	太	若	
	高	輝	杉	
	谷	充	大	
		智	亀	

(シングルスカル)
木村 理恵子

関西漕艇選手権

(対校エイト)

S	坂口	健	吉田	亮
7	末廣	恭一	空田	一馬
6	竹内	悠吾	(シングルスカル)	
5	宮本	健志		
4	錢谷	剛志		
3	井口	順太		
2	高橋	輝		
B	北谷	充彦		
C	和泉	智彦		

瀬田川杯

(フォア)

S	寺田	忠則	木村	理恵子
3	岸本	光洋		
2	若杉	圭司		
B	大山	智司		
C	亀井	健治		



全日本大学選手権

(対校エイト)

S	坂口	健	吉田	亮
7	末廣	恭一	空田	一馬
6	竹内	悠吾	(シングルスカル)	
5	宮本	健志		
4	錢谷	剛志		
3	井口	順太		
2	高橋	輝		
B	北谷	充彦		
C	和泉	智彦		

(シングルスカル)



(ダブルスカル)

S B 吉田 亮
吉田 亮
空田 一馬

(シングルスカル)

木村 理恵子

《98年度年間成績一覧》

第51回 朝日レガッタ

1998年 5月2・3・4・5日
於) 滋賀県立琵琶湖漕艇場

<男子エイト>

1000mレース

予選

1	関西学院大学	2	3' 07"	83
2	岡山大学「回天」	1	3' 07"	32
3	近畿大学	3	3' 08"	57
4	大阪大学	4	3' 09"	01
5	同志社大学	5	3' 19"	93

決勝

1	関西大学	6	3' 08"	39
2	鹿児島大学	4	2' 59"	53
3	東レ滋賀	2	2' 55"	93
4	中部電力	1	2' 54"	23
5	三洋電機滋賀	3	2' 57"	93
6	日本大学	5	2' 59"	81

(感想)

対校エイト 4回生 寺田 忠則

毎年の事ですが、朝日レガッタが我がボート部のシーズン開幕レースとなっている行事です。口癖のようですが、去年も私にとって納得のいく朝日ではありませんでした。Jr.エイトの2番漕手として出場したのですが、スタート失敗のため審判艇の波をかぶることとなつた。今年の朝日こそスタートを失敗することがなかったが、最後尾で独り相撲をしていました。今年も審判艇の波をかぶると思いきや、玉置が審判艇の操作をしていたため最後尾ながらも波は逃れた。

今年の対校クルーはレース未経験者が多かつたため、そこそこのレース転回の予想はたっていました。それに加え、朝日で勝つに越したことはないが、元々優勝しようなどと言う目標はなく、3月頭の乗艇開始で半年以上のハンドブックを2ヶ月で取り戻すのも多少無理があつたように思える。一生懸命2ヶ月間漕いできた成果が予選最後尾かと眉間に皺を寄せて残念がられても返す言葉はありませんが、私は優勝はただの”success story”であり、負けたときこそ”a lesson in disguise”であると考えています。もちろん勝負は、「勝つって何ぼのもん」だと言うことは承知です。朝日を好成績で通過して快調にシーズンをスタートが出来ればその一年をまた違つた盛り上がりで他のレースに望めるかと思います。今年が私にとって最後の朝日だったわけですが、

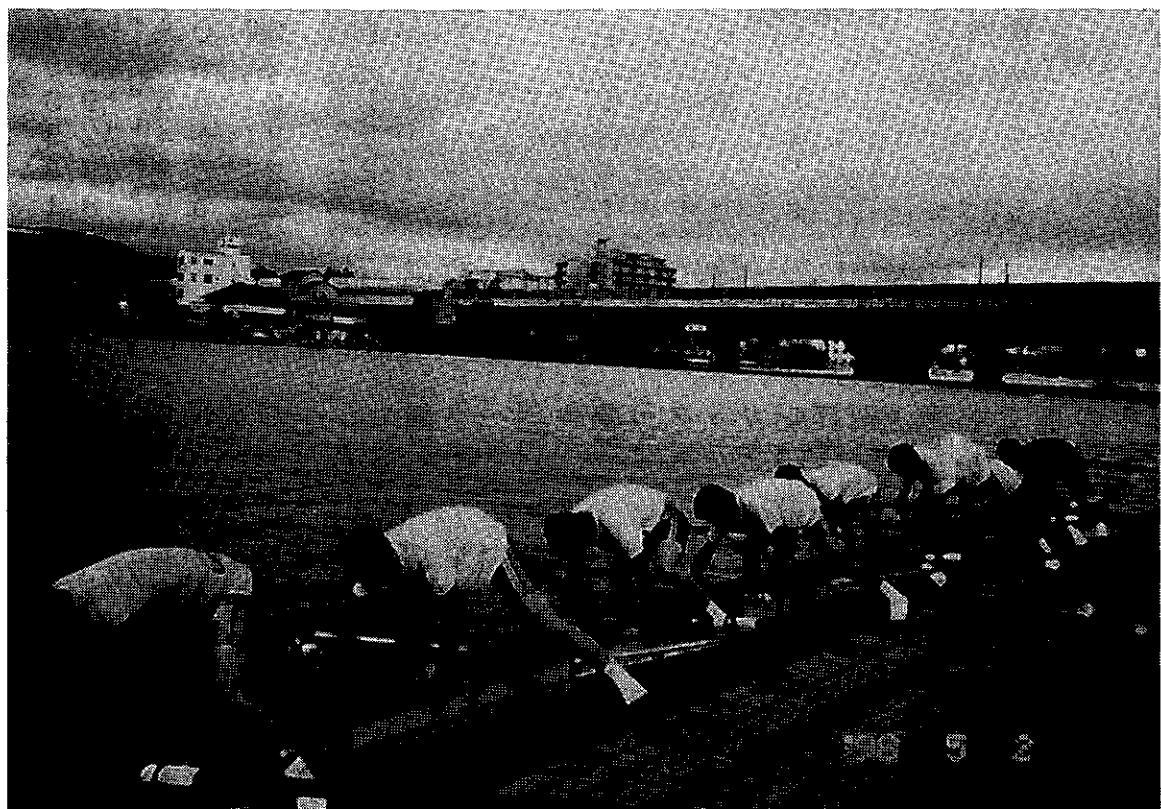
是非このレースを毎年大切に、そして慎重に利用していってもらいたいです

対校エイト 2回生 末広 恭一

今年の朝日レガッタは、3月に乗艇を再開してから2ヶ月間と言う短期の試合となつた。それに部員が大幅に減少したため対校クルーも経験の浅いものを乗せなくてはならなかつた。

試合当日、現時点でのベストを出せるようにとレースに臨んだ。スターは、自分達が予想していた通り他のクルーに先行された。コンスタント勝だと考えていた僕達はとにかく蹴りまくつた。だが、他のクルーとの差はまらず離されていく一方だった。結局そのままゴールし、5艇中最下位とう情けない結果となってしまった。

この試合は、自分自身の気持ちとしても少しでも上にいきたかった。昨の事故以来、部全体を見直し、新たなスタートの第一歩だったからだ。まさに、僕達が再びボートを漕ぐことができるよう多くお力を頂いた多くの人に感謝したい。そして、インカレで結果を残すことが僕達の最高の感謝意になると思う。とにかく夏、がんばりたい。



対校エイト蹴り出し

98年度 関西学生新人レガッタ

1998年 5月30日・31日
於)滋賀県立琵琶湖漕艇場

500mレース

予選	1 滋賀大学教育学部 A	3 2' 09"	32
	2 京都大学医学部 A	4 2' 23"	43
	3 滋賀医科大学 A	1 2' 05"	90
	4 同志社大学	2 2' 08"	90
	5 神戸大学 A	5 2' 48"	96
準々決勝	1 滋賀医科大学 A	2 2' 01"	96
	2 同志社大学	1 2' 01"	54
	3 大阪工業大学 C	4 2' 27"	99
	4 大阪市立大学 B	3 2' 10"	10
準決勝	1 龍谷大学 B	2 2' 02"	17
	2 同志社大学	1 2' 01"	88
	3 京都大学 C	4 2' 04"	49
	4 甲南大学	6 2' 14"	70
	5 関西学院大学 B	5 2' 08"	68
	6 滋賀大学教育学部 A	3 2' 02"	59
決勝	1 兵庫大学	6 2' 09"	58
	2 近畿大学 A	1 1' 50"	21
	3 立命館大学 B	2 1' 55"	83
	4 関西学院大学 A	4 2' 04"	64
	5 龍谷大学 B	3 1' 57"	08
	6 同志社大学	5 2' 08"	11

(感想)

1回生 所 浄伸

この試合のわずか3週間前に合宿入りした。はっきり言ってまともに漕げ状態で試合に臨めるとは思っていなかったが、先輩方の指導、経験者が2より未経験者の2人の飲み込みの早さもあって、試合前には新人クルーと思えないほどの状態になっていた。

先輩方からはメダルを狙える、と言われ自分自身も新人レガッタとは思えいくらい真剣であった。予選、スタートで2艇に出られたものの、途中からレートを上げ2位でゴール。準々決勝も予選で負けた相手に出られたが、半抜いて1位でゴール。予選、準々決勝とも後半伸び、気持ちのよいレー

スだった。準決勝は非常にきついレースだった。ラスト100メートルで位。ここからスパートを入れ、1位でゴール。このレースはボートの面白を味わうには最高のレースだった。決勝では力の差があり悔しい思いをしが、この大会では勝った時の喜びと負けた時の悔しさを同時に味わえ、非によい経験となった。

1回生 山田 篤

晴天に恵まれた5月30日、ボートという競技を始めて間もない僕に試出場という機会が与えられた。嬉しいという気持ちが第一であったが、緊と不安も正直言つてあった。ナックルレガッタなのにナックルに乗って練したことなどがなかつたというのがその最大の原因であったが、先輩方や同回の仲間達の激励を受けて強気で試合に挑んだ。その結果まずは予選通過。「たり前だ」という声もあつたけれど初心者の僕は、勝つことの喜びを少々わうことができて幸せであった。

2日目。この日も晴天で絶好のボート日和であった。準々決勝、準決勝順調に勝ち進み、心の中で「もしかしたらメダルを狙えるかもしれない」考え、決勝では全精力を注ぎ込み、レースに集中した。しかし他のクルー差をかなりつけられて5位。悔しかった。まだボートを初めて間もないと言え、決して満足いく結果とは言えない。この悔しさをバネにしてこれから頑張っていきたい。



-20-

第43回 中日本レガッタ

1988年6月5・6・7日

於) 愛知県立愛知池漕艇場

< Jr. エイト >

1000mレース

予選

1	南山大学	3	3' 25"	84
2	滋賀大学経済学部	1	3' 11"	64
3	同志社大学B	2	3' 16"	20
4	名古屋大学 A		棄権	

決勝

1	南山大学	4	3' 19"	86
2	同志社大学B	3	3' 11"	09
3	庄内川C	5	3' 27"	28
4	滋賀大学経済学部	1	3' 06"	24
5	名古屋大学	2	3' 08"	02

尚、同志社大学Aは棄権しました。

(感想)

Jr. エイト 3回生 小松 正彦

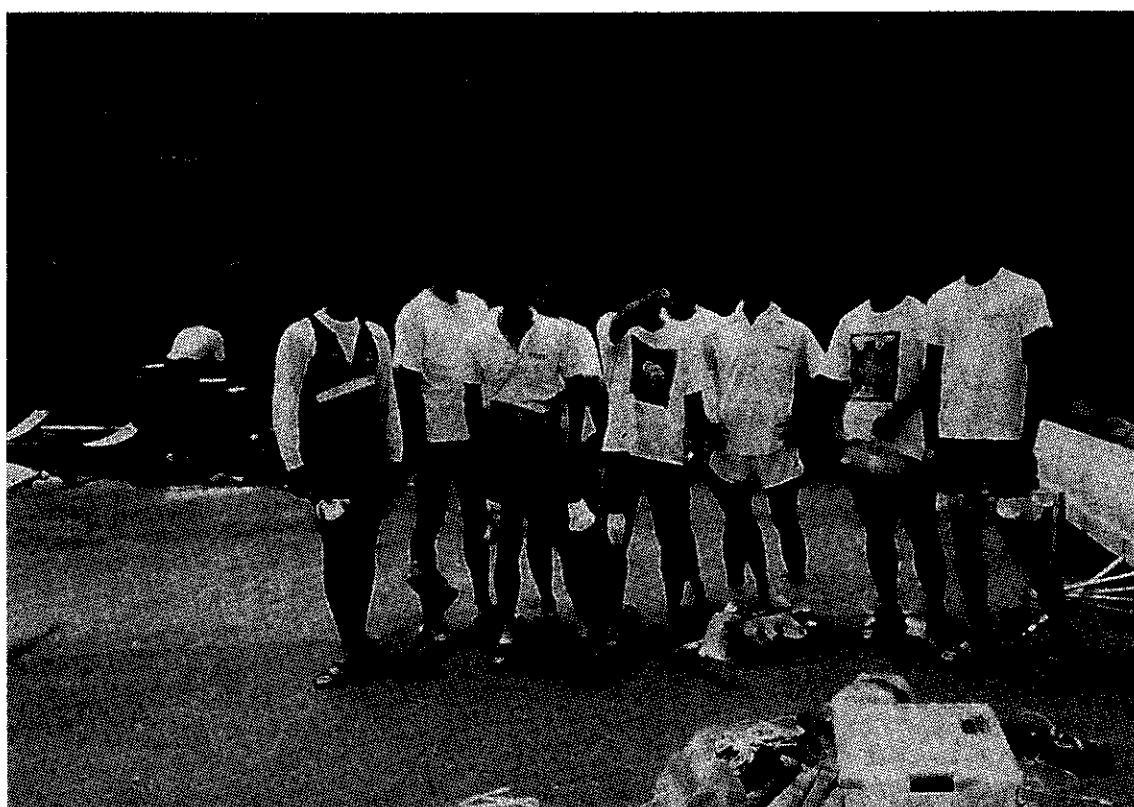
クルーがたびたび入れ替わり、充分な練習ができないままレース当日を迎ることになった。1、2回生中心のクルーだったためスタート前のかたさがあった。スタートしてもそのかたさは取れず、良い所が出ないままゴールてしまつた。出漕数が少ないため決勝に進んだ。スタートへの不安があるま決勝のレースが始まった。やはり他の4艇に出られ最後方からのレースなつた。500メートルまでに2艇を抜いた。上位2艇との差も徐々につり始めた。すかさず足蹴りを入れるが、タイミングが合わず逆効果となつた。ラストスパートで多少つめたが、結局3位でゴールとなつてしまつた。若い未熟なクルーとしては良くやつたと思うが、逆に言えば3月から十分間があったにもかかわらずこの程度の完成度にしかならなかつたことも間であると思う。多くの課題を残したレースだった。

今年の中日本レガッタは、全日本選手権と重なったということもあり、イトは5艇で争われるという大変さみしい大会となった。

予選のタイムだけでいうと3番目だったので、決勝ではぜひとも勝ちたという雰囲気ができあがっていた。その決勝レースでは、スタートで予どおり、滋賀経、名大Bに出られ、追う展開となつた。コンスタントで粘りが及ばず、結局、予選タイム通り、3位に終わった。

3月にJ r . クルーを結成し、私を含め「問題児」の多いクルーであることを考えると、中日本3位だったというのはよくやつたといえるだろうだが、レース経験の少なさから出たいろいろな面での弱さは、私自身、大学ぶことが多く、たった3分と数秒におけるローイングの反省点は尽きるところがない。今回のレースで学んだことが次につながるよう、努力し続けたい。

最後に、「問題児」の多いJ r . クルーをここまでひっぱって下さった調の小松さん、本当にありがとうございました。



平成10年度 関西漕艇選手権

1998年7月24・25・26日

於) 滋賀県立琵琶湖漕艇場

<男子エイト>

1500mレース

予選	1	同志社大学	2	4' 4 3"	0 5
	2	滋賀大学経済学部	4	4' 5 7"	8 7
	3	大阪大学	3	4' 5 4"	3 5
	4	島根大学	1	4' 3 9"	5 6

敗者復活	1	大阪大学	3	4' 5 3"	6 2
	2	近畿大学	1	4' 4 3"	9 3
	3	同志社大学	2	4' 4 6"	5 4
	4	滋賀大学経済学部	4	4' 5 6"	6 8

決勝	1	東レ滋賀	1	4' 2 8"	8 0
	2	島根大学	4	4' 3 9"	1 5
	3	近畿大学	5	4' 4 1"	0 9
	4	岡山大学	3	4' 3 8"	1 3
	5	三洋電機滋賀	2	4' 3 7"	4 5

<男子ダブルスカル>

予選	1	同志社大学	5	6' 0 0"	9 6
	2	膳所高校	3	5' 3 9"	8 8
	3	京都大学A	2	5' 3 6"	1 6
	4	ダイキ&バスターズ	1	5' 0 0"	7 9
	5	瀬田工業高校	4	5' 5 9"	5 8

敗者復活	2	滋賀医大あけぼの	3	5' 5 2"	2 7
	3	京都大学A	2	5' 4 4"	6 8
	4	瀬田RC	1	5' 4 0"	8 6
	5	同志社大学	4	6' 0 2"	0 2

決勝	1	立命館大学	4	5' 1 9"	1 1
	2	NTT関西	3	5' 0 9"	6 0
	3	ダイキ&バスターズ	1	4' 5 5"	8 2
	4	東レ滋賀	2	4' 5 7"	6 5

<女子シングルスカル>

予選	1	小玉	(米子工高)	2	6' 32"	83
	2	川本	(立命館大)	4	7' 00"	38
	3	田村	(岡山大)	3	6' 53"	21
	4	木村	(同志社大)	5	不明	
	5	半田	(龍谷大)	1	6' 32"	20
敗者復活	1	田村	(岡山大)	3	6' 59"	24
	2	増谷	(立命館大)	2	6' 49"	01
	3	柄本	(岡山大)	棄権		
	4	木村	(同志社大)	1	6' 48"	44
準決勝	1	木村	(同志社大)	3	6' 35"	89
	2	山本	(瀬田RC)	1	6' 24"	09
	3	半田	(龍谷大)	2	6' 25"	21
	4	平井	(大丸京都)	4	6' 53"	83
決勝	1	青山	(CA商友艇友)	1	6' 14"	40
	2	小玉	(米子工高)	4	6' 31"	02
	3	半田	(龍谷大)	3	6' 23"	49
	4	山本	(瀬田RC)	2	6' 15"	84

瀬田川杯

<男子フォア>

予選	1	岡山大学A	4	7' 24"	34
	2	陵水艇友会A	1	5' 31"	02
	3	同志社大学	2	5' 32"	19
	4	追手門大ギャロップ	3	5' 47"	88
	5	神戸大学C	棄権		
敗者復活	1	岡山大学A	2	5' 42"	08
	2	追手門大ギャロップ	3	5' 52"	59
	3	同志社大学	1	5' 38"	75
	4	滋賀医大「湖神」	4	5' 57"	28
	5	島根大「水光」	5	6' 19"	65
準決勝	1	同志社大学	3	5' 27"	66
	2	瀬田工業高校C	5	5' 48"	84
	3	瀬田工業高校A	1	5' 16"	77
	4	立命館大学A	2	5' 19"	72
	5	滋賀大教育「無双」	4	5' 32"	98

決勝

1	熊本学園大学	2	5' 18"	34
2	瀬田工業高校	1	5' 15"	12
3	京都大学	4	5' 25"	30
4	立命館大学	3	5' 19"	98
5	滋賀医大「神叡」	5	5' 30"	76

(感想)

対校COX 4回生 和泉 智彦

ース報告

予選レース>

スタートに不安を抱えていたが、コンスタント勝負になれば十分勝てるで
らうと思っていた。島根大にスタートで出られ、すること全てが後手にま
り、差は縮めたが追い抜くことができずに敗復へ。

復レース>

予選レースの失敗を克服するために、先手先手を打つ作戦に。やはりスタ
ートで近大に出られたが、絶対に離されないよう懸命に追った。1200メ
トルくらいで近大に並んだが、相手が一枚上手であった。

インカレへ向けて>

レースを重ねるごとに目標が達成できるクルーだと思った。コンスタント
は自信を持つことができたが、スタートからスパート、スパートからコン
タントへのつながりが課題である。

対校エイト 3回生 北谷 充

予選 朝日レガッタ惨敗という嫌な記憶から希望よりも不安が頭を埋めて
た。僕自身の頭の中からあの出来事をできれば消してほしかった。しかし、
日の過酷な練習でも消えることはなかった。いい意味でも。悪い意味でも。
スタート用意」

分で脈の高ぶりを感じた。

GO」

本、2本、3本・・・

ひける」

はそう叫んだ。BOWとしてクルーを盛り上げるというより、勝手に口か
吐き出されていたといった方がいいだろうか？

500メートルを過ぎると、水を大きくあけられたクルーを逆に大きくあ
ていた。僕達には島根大だけに意識が集中されていた。島根大は100メ
トルを過ぎる頃には、ワンストロークの艇速の違いから徐々に水がひらき
めていたと同時に、みんなの疲れが感じられた。

ここからいける。スパート、スパート。」

スタート350メートルくらいだったろうか。しかし一向に白い影は見えなか
った。その後約1.5艇身と離された。悔敗だった。結局2位でゴールした。
結果を出すことができず悔しさは残るが、インカレに向けての希望と課題
知らされ、成長したことを実感したレースであった。

僕はフォアで試合に出場するのは2回生の時の朝日レガッタ以降初めてであった。レース前になんでも技術の面で注意されることが多かったので、選前にはたかが瀬田川杯ではあったが、少々緊張した。

そして予選の結果はスタートは良かったものの、3番若杉のシートが途で外れてしまい、惜しくも2着敗退だった。そして敗者復活では何とか1になり、準決勝に進めた。僕は準決勝にまで進んだ試合は初めてだったので、やる気満々だった。その準決勝のレースもスタートはなかなか良かったのが、またもや、シートにトラブルがおき3着で敗退となってしまった。

自分の力が出し切れずに敗れてしまったので、非常に悔しかった。しかし若杉には僕の悔しさ以上に辛い出来事だっただろう。レースでのトラブル恐ろしさを感じさせる試合となってしまったが、この悔しさをバネにこれからも頑張っていきたい。

ダブルスカル 2回生 空田 一

僕自身スカル系の艇はこのクルー編成の時に振り分けられたのが初めて、試合までは2ヶ月ないという状態でだった。何とか試合までに、試合できる状態にもつていかねば、とかなり焦っていた。試合の日まで来てまだバウの僕が整調の吉田にうまく合わせられていなかった。試合は、まだ金曜日の予選。風のためなかなか艇をスタート地点に着けることができず何とか着けたと思ったらもう緊張するまもなくスタート。スタートはうまくいかず、コンスタントでも艇をのばすことができず、最下位で敗復へ。敗では予選の時にうまく合わなかつたので少しコンスタントでレートを落とした。がそれが裏目に出で、予選よりも大差で負けてしまった。練習する期間も短く、厳しい状態だったが、もっと自分の力を出せたのでは、と後からう悔しいレースだった。

シングルスカル 1回生 木村 理恵

シングルスカル第2戦となった今回の試合は、予選から大荒れでした。まず800メートル地点でオールが水中にとられて転落してしまいました。2イムは正式には計れませんでしたが、敗復にまわることができました。2目は、昨日の苦い経験をふまえて勝つぞという思いで臨みました。蛇行をり返したものの1位で上がり午後は決勝です。これで当たりは3度目となる半田さん(龍谷大)にはついていこうと思つていましたが、結局私の未だ未熟なローリングでは追いつくこともできず3位でした。けれども私の中には準決勝に行けた事で少しずつではありますが、前進しているなという実感があり、シーズン後半戦へのよいステップとなりました。また今度の試合は改めて部員の方々の声援が、いかに自分の緊張している心を落ち着ける同時に支えとなっているかということを感じました。心から感謝しています。そしてその応援に答えられるように毎日の練習をもっと大切にして、二度とこのような悔し涙を見せないように頑張ります。

第24回 全日本大学選手権競漕大会

1998年8月20・21・22・23日

於) 戸田漕艇場

<対校エイト>

2000mレース

予選		1 関西学院大学	1 6' 3 1"	6 1
	2 東海大学	4 6' 4 6"	7 3	
	3 同志社大学	3 6' 4 4"	3 0	
	4 防衛大学	5 6' 4 8"	4 8	
	5 九州大学	2 6' 3 8"	1 6	

敗者復活		1 同志社大学	3 6' 4 6"	1 2
	2 近畿大学	2 6' 4 1"	8 8	
	3 鹿児島大学	1 6' 2 6"	1 2	
	4 九州大学	4 6' 5 7"	6 2	

決勝		1 日本大学	2 6' 2 7"	3 8
	2 中央大学	1 6' 2 5"	5 8	
	3 早稲田大学	3 6' 2 8"	1 7	
	4 鹿児島大学	4 6' 3 0"	1 6	

<女子シングルスカル>

予選		1 木村(同志社大)	2 8' 5 4"	1 8
	2 嶺井(共立女子大)	3 9' 0 4"	0 6	
	3 高井(相模女子大)	1 8' 2 9"	7 5	
	4 穂坂(千葉大)	5 9' 2 4"	2 0	
	5 佐藤(北海道大)	4 9' 1 3"	3 8	

敗者復活		1 佐藤(北海道大)	4 1 0' 2 2"	3 4
	2 木村(同志社大)	2 9' 5 6"	0 7	
	3 津村(北大水産)	1 9' 3 6"	1 2	
	4 高橋(中央大理工)	3 1 0' 1 7"	1 0	

準決勝		1 木村(同志社大)	4 9' 3 4"	7 5
	2 安田(早稲田大)	3 9' 1 2"	6 2	
	3 高井(相模女子大)	1 8' 5 2"	4 5	
	4 中本(東京経済大)	2 9' 0 2"	0 7	

決勝

1	佐藤 (日本大)	2	8' 4 2"	1 6
2	原勢 (東京外大)	4	8' 5 2"	4 9
3	高井 (相模女子大)	1	8' 3 6"	0 2
4	小黒 (鹿屋体育大)	3	8' 4 4"	9 4

(感想)

対校エイト 4回生 坂口 健

今年の対校エイトを組んで、朝日、関選と全く勝つことも出来ず、周囲に期待に応えることが出来なかつたが、8月に入つてからは、日に日に調子が上がり、インカレ出発前には、自分が同志社に入つてから見た程の艇速とコンスタントの力強さを作ることが出来た。しかしこの年の艇速とコンスタントの力強さを作ることが出来た。しかし今年のクルーの最大の弱点である若さと経験の少なさが、勝敗を分けることとなってしまった。インカレという大舞台で練習通りの結果を出すことができなかつたことは、実力が足りなかつたという事を、現役にはしつかり覚してもらいたい。勝つためにしなければならない事はたくさんある。しかし勝つ可能性も大いにあることを、部員一人一人が自覚し、日々練習に取り組んでもらいたい。頑張れ現役、君達が同志社の代表だ！！

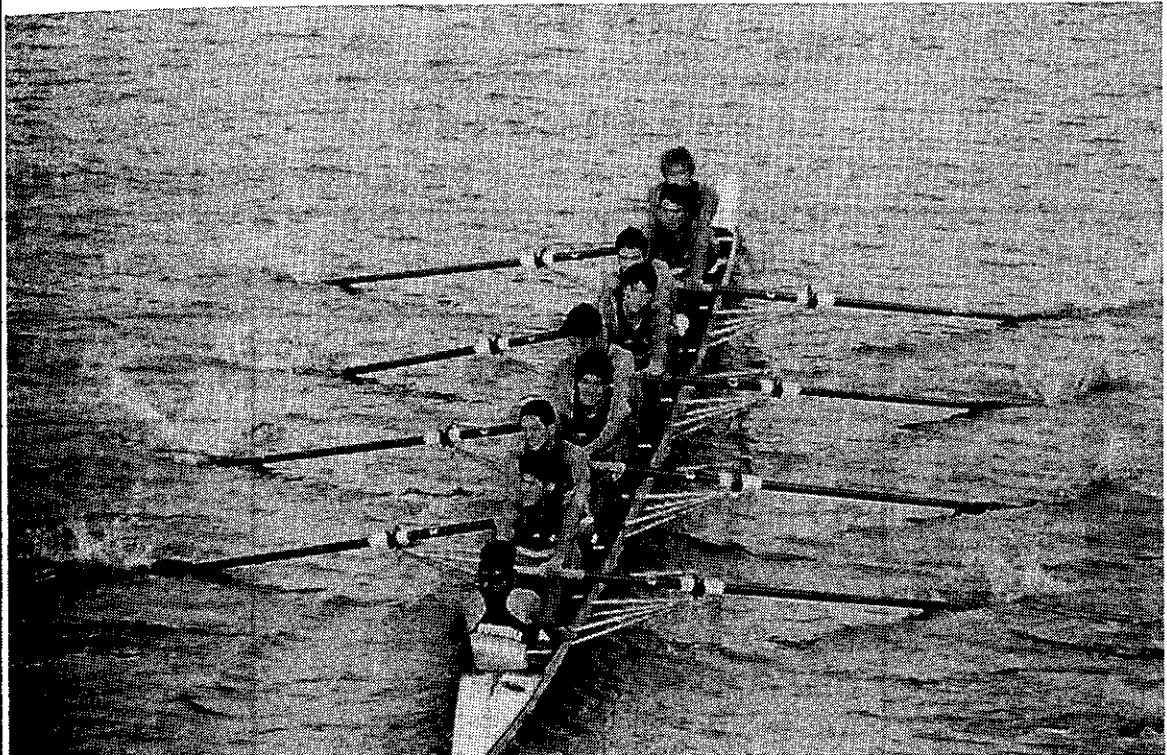
対校エイト 2回生 宮本 健

夏の終わりを感じさせる強風の中、予選3位で敗復にまわった我々は蹴り出した。今シーズンは朝日、関選と負けこのままいいこと1つ無しは終わってしまうのだろうか。まさにインカレは背水の陣だった。

レース直前に降り出した雨の中、同志社、鹿児島、近大、九州大の4艇スタートした。同志社以外の3艇はスタートでほぼ互角に飛び出した。2000メートルをレート3.8で漕ぎきろうと決めていた通り、コンスタントではレート3.8をキープできた。500メートル付近で九州大をあつめかわしたが、すでに2位の近大とは1艇身以上の差がある。2位までに入らなければ後がない。我々は後のことを考えずに全身全霊をこめて蹴った。

1000メートル付近、和泉さんの絶妙のスパートで近大との差をじりじりとつめる。ここで追いつくしかない。近大が私の視界にも入ってきた。並んであと500メートルある。ラスト300メートルで近大がスパートを入れた。

ゴール後気が付くと雨がやんでいた。ダウンで坂口さんが言った。
「来年につなげよう。」と・・・
お疲れさまでした。



対校エイトレース風景



対校エイトレース前

《会計報告》

1998年度収支決算書

支	出	収	入
勘定科目	金額	勘定科目	金額
維持費	1,610,973	前期繰越金	495,281
資料費	64,178	学友会預託金	1,102,000
什器備品費	326,447	部費	174,000
医療費	25,313	入部金	9,000
交通費	108,961	個人負担金	7,861,000
事務費	10,354	受取利息	290
手数料	15,764	特別収入	1,352,760
出張費	32,697	寄付金	2,892,000
分担金支出	76,000		
涉外費	22,969		
消耗品費	52,575		
用具購入費	578,828		
連盟費	88,800		
通信費	417,850		
遠征費	2,747,175		
試合費	229,472		
練習費	295,924		
特別支出	391,100		
記念費	522,771		
合宿費	5,272,768		
次期繰越金	995,412		
合計	13,886,331	合計	13,886,331

特集 ある1回生の1日

部員の合宿所生活をリアルに紹介するため、今号ではこのような特集を組みました。習と雑用、そして学校と忙しい1回生。その中の1人、菅野浩平君に密着リポートを見てみました。

4:20 起床

「もーブルーですね。」と語るように冬の早起きは寒くてつらい。まだ暗く月が出る中、頭も半分寝ぼけながらモーションの準備をする。

4:30 モーション

「もっぱら乗艇でございます。脳裏に浮かぶのは、温かいベッドです。」菅野君は同回生の山田君と組み、ダブルに

6:40 配膳

乘ります。評判のカミソリチャッヂが持ち味。そのころ他の艇も漕ぎ込むことで、主に技術と体力のため頑張っています。漕ぐのに近い感じでトレーニングをした方が、より効果的なのです。

練習を終えた1回生がぞろぞろとフロアに入ってきて、男子マネージャーが作った朝ごはんを配りだします。「コツは均等に！水を切る。」これが配膳のポイント。



7:00 朝ごはん

菅野君は鶏とキノコの炒め物がお気に入りのようですが、みんなのお気に入りは・・・

1位 野菜炒め

2位 豚肉のしょうが焼き

3位 スクランブルエッグ

1:00 学校へ行く

菅野君は文学部・文化学科・教育学専攻。将来は英語教師を目指し、暇なときは図書館で勉強するなどまじめに頑張っています。

12:15 生協で昼食

玉子ぞうすいに大好きなブルーベリーヨーグルトパフェ欠かしません。仲のいい友達である坂本君と3つ年上の君は「やせなきやいけないのに、食っている。」と菅野をせめます。

15:00 合宿所に戻る

(が、たまに大倉たこ焼き店に寄り道) 着いたらまずジージに着替え、パンクした自転車に乗り買い出しをします。その日の買い物は牛乳6本、オレンジジュース6本、噌、バター、ついでにお菓子を買います。本当に食べ過ぎですね。

「モーション、10分まえええー！！」

18:00 モーション

「やせるために主にランニングをしています。またスクス修業のためウェイトやエルゴの付き人をして、みんなにやる気の出る一言をかけています。漕手はというと、アップと心拍機能の強化のため、陸トレをしています

上がってくると女子マネージャーがひどく慌ててごはんを作っています。菅野君は聞きます。「ごはんまだっすか？」

20:00 配膳

20:15 夕ごはん

女子マネージャーの愛のこもったおいしい料理で疲労回復！マネージャーも新メニュー作成に力を入れています。食事中はみんなで楽しく話しています。では、みんなの気に入りは・・・

1位 からあげ

2位 豚キムチ

3位 豚肉の野菜巻き揚げ

21:00 再び雑用

「好きな雑用は郵便物の仕訳、嫌いなのはトイレ掃除」と言う菅野君。1回生はまだ休めません。



「好きな雑用は郵便物の仕訳、嫌いなのはトイレ掃除。」と言う菅野君。1回生はまだ休めません。

新しく浴槽が作られました。みんなで喜んでいます。菅野君は新島襄の歌を作り、坂本君と所君とハモってお風呂を楽しんでいるようです。長風呂らしいとか。

上がると消灯まで趣味のギターを弾いています。同室の2回生銭谷君は菅野君を「部屋の掃除をしないが、朝起きたら電灯を付けてくれるし、あいさつもしてくれる。先輩思い。」と言っています。就寝まで同室や先輩いろいろなことを話しているようです。

日記を書きやっと眠りにつきます。また明日も早起きです。

このような合宿所生活。一見大変ですが、「合宿所生活も充実していておもしろい」と菅野君は思っています。また試合前のミーティングで「練習の時点で結果が出るから、オレ達の力を試しに行こう。絶対勝てる！！」とみんなに言うことが菅野の夢で、それに向かい努力しています。

卒業生のことば

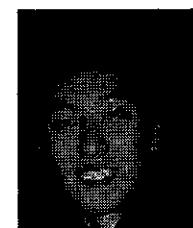
前主将 坂口 健



右も左も分からぬ状態でひたすら対校を目指していた1回生、少し要を覚え、上回生に対して反抗心を燃やした2回生、Jr. クルーに全てをかけ、対校クルーに勝負を挑み続けた3回生。本当にいろんな事があった。自分の場合はどうでもいいプライドが先行して周囲にたくさんの迷惑をかけてしまった。

4回生になり、部を引っ張り責任が出てくる立場になって初めて、仲間を知ることが出来た。自分を支えてくれる仲間のためにも頑張り心から思えた。そして何より1人のボートマンとして自分に勝ち、人勝ち、日本一になりたかった。でも夢を叶えることは出来なかった。結局自分は同志社大学ボート部のために何が出来たのだろうか。こんなに嬉しい仲間とたくさんの経験がくれたボート部に対して、何も恩返しが出来ないまま引退してしまうのは非常に悔しい。それでも最後の一年間は同志社活動の兆しを見たような気がする。これから現役のがんばりに期待する時に、引退してOBとなっても現役のころの情熱を持ち続けたいと思う。

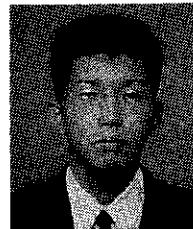
前主務 綱島 雄一郎



1998年8月21日。3年間半のクラブ活動が終わった。悲しくもなった。「昨年の事故からやっとここまで来ることができた」というのが率な気持ちだった。クラブを離れて数ヶ月たった今も、自分が過ごしてきたクラブでの事が整理できていない。1つはっきりしているのは岡本部長、監督、先輩方に感謝の気持ちでいっぱいだということです。本当にありがとうございました。

そして、4回生の仲間達と過ごした時間は刺激があり、貴重な体験だったが個性は全く違ったけれど、皆尊敬できる仲間でした。皆ありがとうございます。

前副将 和泉 智彦



ボート部で過ごした3年半様々なことがあった。ナックルからシェルへ、スイープからスカルへ、スカルからCOXへ、そして何気ない日々から事故の日々へ。自分自身の、あるいは、クラブ全体の転機が訪れるたびに困難なことが多かった。思えば、一つのことにこんなにも真剣に取り組んだことは今までなかった。私はボートを続けることができ、最後のインカレまでレースができたのは、監督、コーチの方々をはじめ諸先輩方や、同回のみんな、後輩たち、両親の支えがあったからだと思う。そんな人たちのために、自分のために1つでも多く勝ちたかったのだが、最後まで勝てなかつた。合宿所に訪れると、後輩達は一生懸命モーションに取り組んでいて、本当に嬉しくなる。毎日モーションしていると、つい忘れがちだが、瀬田川にボートを浮かべることができることの喜びを感じてもらいたい。日々考えながら行動すれば、必ずいい結果が得られるこどと思う。瀬田で戸田で同志社のブレードが生き生きとしている姿を楽しみとしている。最後になりましたが、私が過ごした3年半の間に監督、コーチをされた方、諸先輩方、後輩達に感謝します。そして、同回のみんな本当にありがとうございました。そして、これからもよろしく。

前副務・学連 玉置 智雄



今、女子マネージャーから力漕の原稿の催促の電話を頂き、ようやく重い腰を上げたところである。書けない（書きたくない？）理由はわかっている。「勝ちたい、後悔したくない」という気持ちでボートをやってきたつもりが、今3年半のボートを思い出してみると、いくらでも「あの時こうしておけば・・・」という思いが出てくる。だからやはり僕の原稿は陰鬱なものになってしまふだろう。だから書きたくないのである。
僕は過去3年間の「力漕」を見てきたが、毎年感じることは「暗い、どこなく暗く、進んで読む氣の起こらない雰囲気を漂わせている。」というこだ。そう思ひながら結局自分も同じようになってしまふのが悲しい。
でもこの3年半が自分自身に与えた影響は計り知れず、それなりに楽しい大した目標もなく張りのない今の生活に比べると、ずいぶん有意義であった。これは確かである。このボート部だからこそ出来た経験は、きっとこれから大きくプラスになるだろうと思う。しかしやはりスポーツをしている以上、「勝った」という経験がなければ、その期間の思い出にはどうしても「後悔」というものがつきまとってしまうと思う。
だから現役の皆さん、1年後自分自身を振り返った時、「後悔」なんてものがないように頑張って下さい。

前副務・会計 牧之瀬 寛



何を書こうかなあと思い、今までの力漕を開いてみた。先輩方の文章をみると驚いた。国語ダメダメ人間の僕にとっては、言葉遣い、文章展開がまるで小説のように思えた。僕には到底無理なので、今思っていることを適当書くことにする。

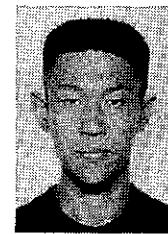
みんなに一言！

今の生活、1分1秒をもっとパワフルに楽しんでくれ。ボートに対する勢、向上心はよく伝わってきた。でも、どっかに楽しみを見つけて、次のニュー、次の日の練習の事を考えずに、その瞬間瞬間をもっと楽しめれば高やと思う。練習だけやなくて、練習の合間とかフロアでメシを食う時ももつと楽しく。週1回のオフも、次の集合のことを考えずに、その1日をいいっぱい遊んでほしいと思う。飲みに行くのも良し、コンパも良し、女びも良し。とにかくその瞬間瞬間をスーパー・パワフルに楽しんでほしいと思う。俺も今思えば、もっと楽しめたんちやうかなと思う。

そんな生活ができたら、引退したとき、年をとったとき、振り返ってみたら楽しい思い出になってるんちやうかな。

俺もこれから社会人になってもこのスタンスで、めいいっぱい楽しんでみたい。

前トレーナー 寺田 忠則



私は大きな人間になることが出来ました。

私のその年その年の感情は、「力漕」をたどって見て頂いたら理解してくれるかと思います。私は立派な人間になりたくてボート部に入部しました。最終のシーズンは漕手を勤めながら、トレーナーとしても立派な人間を育てようと努力してきました。マネージャーも含め、自信を持って精一杯つきました。厳しい勝負の世界で笑い、そして涙も多数流しました。それを同じ感情で笑ったり、泣いたりすることが出来ないと思うと、悲しくなります。しかし、その感情を経験することが出来たことをボート部に光榮思い、私をここまで育て、そして支援して頂いた諸先輩方、OBの方々に感謝の気持ちを表しきれません。私にとって誇りである同志社大学ボート部身体の一部です。一つ、人生語れるものになりました。

一昨年前、悲しい事故で可愛い後輩である田中君を亡くしました。悔やきません。しかし、田中君のご家族とOBの方々の御陰様で我々は復活ることが出来ました。ここで私は田中君のご家族とOBの方々に感謝の気持ちを表したいと思います。ありがとうございました。

私は同志社のオールを握り、同志社のオアズマンと共に力漕することが

たことを誇りに思います。これからは一人のOBとして応援していきたいと思います。

The glorious days of my life,
Will always prosper,
The incompetent moments that may arise

The bladed oars of Doshisha,
Will always storm,
To be ceased by not even death itself

Tadanori Terada



石田 あづさ

引退してずいぶん長く経つのですが、なかなか力漕の原稿を書こうと思うことができませんでした。正確に言えば、まだ現役という気分が抜けないままでした。だから今、これを書いてようやく、引退したんだという気分に浸はじめています。

今までお世話になった先輩方、どうもありがとうございました。後輩の皆さん、瀬田だけでなく、戸田でも十分発揮して活躍されることを期待しています。

最後に、同回のみんな本当にありがとうございます。私はみんなにたくさんのパワーもらいました。みんなのこと胸にしまって、これからも私のパワーにして張っていきたいと思います。本当にありがとうございます。

河野 宏美



ボート部に在籍している間の私を支えたのは、皆が目標に向かって一生懸命努力している姿でした。それぞれ私の知らないところで、きっとたくさん迷ったり、弱ってしまったりしていたであろうに、いつの間にかまた立ちがって厳しい練習を重ねてきたのだろうと思います。現役のマネージャー含め、マネージャーは皆そうだと思いますが、そのような頑張りの支えに含め、私もたくて続けていました。しかし、私は無力であり、彼らの強いが眩しく、逆に支えられるばかりの日々であったように思います。そして、もだいぶ鍛えられたと信じます。人生において大きなウェイトを占めるこになるであろう大学時代を、私は同志社大学ボート部の一員として過ごす

ことが出来て、とても幸せでした。最後になりましたが、いたらぬ私ども温かい御指導、御支援下さった諸先輩の皆様にこの場を借りて、心からの謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

中島 千尋



物事は一人の力だけではなく、いろいろな人の努力や支えがあつて初めて成り立つということ、そして私自身も周りの人達の励ましや思いやりがあるからこそ、頑張り続けられるのだという大切なことを気付かせてくれたのがボート部での4年間でした。逃げ出したくなる程つらいこともありました。何も言わずついてくれた後輩の皆さん、ケンカしながらも共に頑張った同回のみんな、そして誰よりも忙しい中でも「頑張れ」と励まし支えて下さった多くの先輩方に心の底から感謝しています。本当にありがとうございました。

お知らせ

<ご結婚>

平成 7 年卒 藤牧 宏彰 先輩

平成 7 年卒 森田 徳教 先輩

<お悔やみ>

昭和 3 年卒 坂野 公夫 先輩

昭和 4 年卒 西郷 省三 先輩

《伝言板》

S 1 2 年卒 内藤 謙二 先輩

墨堤追想

「私の家の近くの桜が満開となりました。見に来ませんか。あとで久しりに食事を一緒にしましょう。」

世田谷、深沢に住む従兄弟の浅田君から誘われ、成城学園駅で待ち合おうとして桜見物へと出掛けた。4月5日のことである。

目黒行きのバスに乗って、世田谷街道、岡本、砧公園、桜新道、と通り行くと、両側の桜は満開で、日はうららか、目黒通り手前で降りて呑川へ行った。私には初めてのところで、呑川の名すら知らなかった。川幅は20メートルぐらいであろうか。真ん中には細いが水が流れていて、両側の桜並木満開である。

川に沿った両側の道は人通りもなく、煙草の吸殻やゴミも落ちていない。花見用の電線もちようちんもない。日本体育大学の裏側あたりが最もよいめであった。老夫婦が2組と車椅子の婦人が娘さんらしい人とゆっくりと開の桜を見上げながら行くだけでひっそりとして、街のど真ん中にこんなことがあるのかと私は大いに感心した。

深沢8丁目あたりに来ると、川は暗渠になって眺めは悪くなる。目黒通りここまでが良かった。

帰るにはまだ早いから家に寄りませんかと言うので、1丁目の彼の家にち寄った。彼は男やもめで、1人息子とその家族は今大阪にいる。ここでもい物だと言つて出されたのが墨堤の「言問だんご」であった。

昔ながらのだんごの味もさることながら、私は長い間忘れていた墨堤を思い出した。墨堤へは、東京に移つてから2、3回ぐらい行つた覚えがある。確かに早慶レガッタ（ボートレース）の4月末で、桜の咲くころ行つたことない。

満開はもう過ぎ、葉桜になりかけているだろうが、「とにかく墨堤の桜見ておかなくちゃ。よし早速行こう。」と心に決めた。

4月10日、地下鉄浅草で降りて、吾妻橋を渡る。今日は日曜なので人が多い。

墨田区側の橋のたもとのアサヒビールは変わったデザインの建物で注目される。ここは昔はエビスビールであったはずなのにどうして変わったの。そのころ向島側は夜は真っ暗なのに、「エビスビール」の横書きのネオンがあかあかと灯つて、それが隅田川の川面にきらきらと映っていた。

戦前か戦中のビール業界の編成替えでエビス（サッポロ）からアサヒになったのではないかと想像していたが、つい最近、向島で生まれた人に聞いたら果たしてその通りで、向島と本所が合併して新しく墨田区になったと教えられた。

その隣には円形のモダーンな高層のビルがあるが、これは墨田区役所である。この辺りは道路から下は堤防まで横に長い階段状の区民の憩いの場になっている。堤防の頭上は、はるか上流の白鬚橋辺まで高速道路が続き、

かり変わってしまっている。堤防に沿つて北上し、東武鉄道を過ぎると、これから桜見物の本番となる。左は堤防、右は隅田公園、真中は墨堤通りである。堤防と桜並木の間の遊歩道は人がいっぱい。桜は満開を過ぎて、花びらが舞い落ちる下で花見客が所が狭いので机を横（東西）に置いて、うしろの人と背中を合わせる姿で道の真最中である。下町らしく、三味線、スピーカーまで持参して臨席する会の真最中である。場所がないので堤防に沿つてテーブルを置きビールを飲んでいられる。場所があぐらをかいしている人、実際に賑やかである。川の上には屋上船、モーターボートまで止めて花見を楽しんでいる人々もいる。土手下の堤通りの向こうの隅田公園にも多くの人々が歩いていた。右側人混みをかき分けが北の端で、ここより北は住宅である。花見客はここから隅田公園はこそこそ北の端で、人も少ない。その代わり堤防の下の川ぶちの道路機もたてに置けるし、人でも少ない。北へ行くにつれ閑散としていた。

昭和1けた時代に鈴木伝明、田中絹代の「オール持つ手に花が散る」という題の映画があった。この辺りがその背景であろう。

吾妻橋から東武鉄道までは短く、東武から言問橋までも長くない。言問橋吾妻橋から東武鉄道までは少し長く、この桜橋の土手下に言問だんご、昔から戦後架けられた桜橋までは少しある。向島は焼夷弾ですっかり焼けたので昔を隔てて長命寺の「桜餅」がある。向島は焼夷弾ですっかり焼けたので昔町並みをとどめているが、この2軒の店は新しい建物で今も名物として盛している。それなのに近くの長命寺、その他2、3のお寺が焼けずに昔姿で残っているのはどういうことかと思う。

桜橋から上流の白鬚橋までは最も長く、川も弧を描いて向島側へ入る。桜橋から上流の白鬚橋までは最も長く、川も弧を描いて向島側へ入る。

今日は言問だんごか桜餅のどちらにしようかと迷つたが、桜餅はちょうどこの季節で買い物客が店の前に列を作っていたのでやむなくだんごにし、ここで一休みしてから桜橋へ向かった。

桜橋を渡つた浅草側には「台東区スポーツセンター」と大きく書かれた立派な施設が出来ており、こちら側の堤防の桜も満開であった。

私は桜橋の中間の橋上に立つて、下流、上流を眺めながら60年前の昭和年と10年にここで戦つたレガッタの思い出にふけった。（1994.4.3）

私は墨堤へ来る時は、地下鉄浅草で降りて吾妻橋を渡るが、まず橋上から田川を見て「確かにきれいになつた」と思う。ここでボートを漕いで昭和0年前後は実にひどかつた川に投げ捨てられた畳や布団が流れてくるし、猫の死骸も浮いていた。水の色は真黒に近く、悪臭がして、ブクブクとメンガスが吹き上げていた。関西勢はこれをようかんと称していた。

川の交通も多く、石炭を満載した底の平たいだんぱい船を曳航するポンポン蒸気や貨物船が通ると波が立ち、水を掛けられたり、ボートに浸水した。だからコックス（舵手）は琵琶湖や瀬田川と違つて、絶えず注意して、ボートにあてられないよう、選手に水がかからぬようにしなければならない。さあ、これから出発という矢先に、頭から水を掛けられ、ユニフォーム濡れると、出鼻をくじかれ、嫌な気にさせられた。関東の選手は練習からた着ていた。

隅田川に水に慣れない我々は練習が終わって合宿所へ帰ると、アルコール脣部を消毒するよう決められていた。ところが私一人だけおしゃりにおできた時があった。

レースは主として隅田川コースで、他では尾久、荒川でも行われた。戦前は東京オリンピックを機に戸田コースが整備され、全ての大学がここに船艇を移してからは戸田が主なコースとなっている。

ただし、早慶だけは何年か前から再び隅田川（5000メートル）で行われている。この早慶戦を（一昨年と思う）テレビで観戦したが、慶應の船艇波をかぶって浸水し、選手が川へ飛び込んで試合続行不可能となり、早慶の勝利となつたレースがあつた。

戦前の向島には川に沿つて下流から上流へ、東商大（一橋大）、東大、早慶、明、日、大倉高商（東京経済大）の艇庫が並び、東商大の艇庫が最も派で、コンクリート2階建て、側面にはマーキュリー（校章）が大きく描かれていた。東大もコンクリートであったが、その他は全部木造だった。それを除くこの6大学が常に優勢であった。

尾久には一高、学習院の艇庫があり、時々そこから隅田川コースへ練習をしていた。艇庫の並んでいた向島寺島町は、今は当時の面影は全くなく、防に沿つて家が密集し、頭上には高速道路が通っている。大倉別邸だけは残っているので、その北側がかつての艇庫があったところだろう。

一方関西では琵琶湖、瀬田川をホームグラウンドとする京大、同志社大、龍谷大、三高、同志社高商、大阪桜宮に艇庫がある大阪商大（大阪市大）東北ではただ一校、東北大が健闘していた。

私は同志社大クルーの一員として昭和8年と10年、隅田川のレガッタに参加している。昭和8年は明大との対校戦、10年は翌11年のベルリンオリンピック出場校決定選考戦であった。（1994.5.24）

私が学生のころは大学の運動部の中にボート部（通称、漕艇部・端艇部）があるところは現在ほど多くなく、ボートはもともと遠征、転戦が容易でいため試合の回数は少なかった。春は対校戦2回ぐらい、秋に関西選手権に出場、これに勝てば引き続き隅田川で行われる全日本選手権に出漕する程度であった。

レースコースは2000メートルなら6分台、3000メートルなら8分台の短時間で終わる勝負に、冬期を除いて連日練習していたのである。し根っからのボート好き、ボートの虫のような人がどの大学にもいて（に東京）、堂々と留年していた。

私は自分が参加したレースの中で、今でも鮮明に覚えているレースがある。私は初めての隅田川であり、しかも痛恨の一戦だったからである。

それは昭和8年の対明大戦である。もう60年前のことであるが、それで「同志社ローイング100年史」の記述を参考にする。

定期戦は関東大震災の大正12年まで慶應と続いているらしいが、以降となり、その後は明大と定期戦が催されることになり、私が参加した昭和8年（中断した年もある）が7回目で、この年以後は行われていない。

このレースは8月27日であったが、我々は3週間前から上京し、向島町（大倉別邸があり、慶應艇庫の裏側）の安藤高太郎氏（建築請負業）二回で合宿を開始した。

当時は遠征地のどこかの大学の艇を借りるのが通例で、オールは自分がつていているのを貨物輸送した。この年は艇も艇庫も慶應から借りた。

先輩のコーチがいたが、長期間東京出張が不可能だったので、當時最強の東大の瀬田修平コーチ（晩年は青梅病院長）の推薦で同氏の子の畠さん（東大医局）からコーチを受けた。畠さんは東大のコックス（手）だった人で、吾妻橋までモーター艇で交通の少ない荒川に出て

訓練された。

同志社クルーの中では私が新米で、私には戸惑うことばかりであった。琵琶湖や瀬田川では練習の合間に水で顔が洗えるし、汗でベトベトのタオルもすぐすげたが、隅田川では出来なかつた。

隅田川では練習のあとで臀部をアルコール消毒するよう決められ、私も実験していたが、前述のように私一人だけが臀部が化膿し、烟コーチの指示で

郷の東大病院で切開し、養生のため通院するおまけまでついてしまつた。練習中に私が痛みに耐えかねてバランスを崩すと、我々のエイトに追走し、モーター艇から烟コーチの鋭い叱声が飛んできた。

この年の明大は墨堤に艇庫がある強豪6大学の中では振るわない方で、レースの前評判は5分5分の勝負、ただ明大は地元だから有利とも言われていた。

在京の同志社の先輩も熱心に合宿を訪問され、学校の応援団も前日に到着していた。

さて、レース当日、昭和8年8月27日。午前中は軽くコースを漕いで午後に備えた。スタートは午後4時半、東武道鉄橋下である。コースは上流に向かって3200メートル、向島側が明、浅草側が同志社、ゴールは鐘ヶ淵水神前であった。

この日は朝から曇天で、緩い東風が向島側から浅草側に吹いていた。

ボートの競漕はスタートはうしろ（舵）を平行に並べ、ゴールはあたま（舳）が早く入ったものが勝ちとなる。ボートの設計は長さ、重量、幅など制はないので、2つのボートが全く同じ速度でゴールインすれば艇の長い方勝ちとなる。

この日の審判は東商大OBで、審判艇には他に2、3人乗っていたと思う。でにエンジンが稼働している審判艇から審判がメガホンで、両艇はスタートについて下さい。スタート準備が終わらない間はコックス片手をあげて下さい。両艇のコックスの手が下りた時にスタートの合のピストルを撃ちます。なおコースを侵犯したときは警鐘を鳴らします。」

レース前のいつも通りの注意である。

私はこのレースで4番手だったので、オールは右側にあり、顔も浅草側にしていた。

時々反対側の向島側の明大を見ると、見慣れた、日焼けした顔の敵が声をけ合いながら方向調整していた。

汚い話で恐縮だが、こういう緊張したときには乗艇前に済ませていても小を漏らすものだ。

両艇のコックスの手が下りた瞬間、パン、物凄いスタートダッシュだ。審判艇の左右後方からモーター艇が水煙を上げて続く。

東武鉄橋から言問橋までは短く、両艇は平行して通過、その後やや明大リード、言問橋から5、600メートルのところで明大が同志社コースへ侵犯てきて警鐘が鳴った。

私は時々漕ぎながら左を見ると敵が接近して顔が見えるところまで近づいた。

警鐘が乱打され、ガチャガチャ、敵のオールと我が方のオールが交錯して、レード（オールの平らな部分）が折れなくなり、両艇は止まってしまった。

パン、パン
ピストルの連発音によってレースは中止された。スタートから5分も経過していない。

憤怒の形相で敵味方が水上でにらみ合っていたがやがて離れた。私はストロークサイド（右側）だったのでオールの破損はなかったが、番、5番手は箸で水中をかいでいるようであった。

しばらくして審判艇がメガホンで、「再レース、5時半スタート。」とだけ告げて去って行った。

この裁定がフェアでなかったのである。審判1人で決めたのではなくても、裁定を出すのが早過ぎた。十分協議後出すべきものを、簡単に急に出してしまうのである。東風が吹いて明大は西へ流されたと見られたのか。当日は風は微風で、コースコンディションも普通であった。この場合は過去の記録から見ると、明大のコース侵犯による失格が宣言されなければならないかったのである。

このころは日本漕艇協会はすべて東京勢によって占められ、関西からも大からも同志社からも理事は出でていなかった。そして我々の先輩も、この定に抗議もせず、従つたのであった。

両艇が接戦併行していく中、カーブがある場合「かぶせる」戦法がある。向を早く変えるか、遅く変えるか。例えばコースが右側に弧状に曲がる場合、どの地点でコックスは舵を右に変えるかである。右側の艇は方向を変えず直進すると左側の艇は右へ方向を変えられず、方向転換が遅れる。

右側の艇は敵を追い込んだとサッと右へ舵を切る。ここで右側の艇は有利となる。

我々はコースに慣れた明大がこれをやったと聞かされた。

さて、1時間後の再レースである。

艇を慶應の桟橋につけて、我々はいったん陸に上り、3番と5番手はから古いオールを借りて、再度レースに臨んだ。この時明大にも破損がたはずだがくわしいことは分からなかった。

再レースは夕方6時ごろスタート、最後まで接戦の末、ワンカンバス1メートル）の差で惜敗した。私がゴール通過後の勝敗を知ったくらいなら大接戦であった。

東京へ遠征して、借艇、借りオールで負けたとはいえ、（しかも僅差）戦つたのだった。

レース終了後、悄然として慶應の桟橋に帰った我々9人のクルーに2人ベランダから観戦していた慶應の選手らが大きな拍手で迎えてくれた。の夜、両校親睦パーティーが浅草のビヤホールで行われたが、2、3人の手が「何が親睦だ」と断乎として参加を拒み、会も白々しいものであつた。キャブテン山辺氏が「敗軍の将は兵を語らず」と挨拶しただけであった。

合宿へ引き揚げてから、全員が荒れに荒れた。そして睡眠の時間もな

朝の列車で帰京したのだった。

繰り返しになるが100年史に以下のように述べられている。
「対明大戦は昭和8年を最後に中止となっている。言問橋を越えた50メートルの地点で明大が同志社コースを侵犯、同志社のオールが2本（一本は3本）折れるという強烈な接触をきたした。このため直ちにレースを中心他校のオールを借りて再レースを行い、ワンカンバスの差で惜敗した。このクルーが『敵の汚さに激怒した』とあるが、再試合で敗北した。これで対明大戦は行われなくなり、結局通算成績は同志社の2勝5敗となつていている」

隅田川のレースには昭和10年にも出場している。これは京大と共に和11年に行われたベルリン五輪出場決定戦参加であった。

この時は両校が瀬田から自前のエイトを初めて隅田川まで輸送したのであるが、どちらも戦績は惜敗で、関東の壁の厚さを痛感させられた。100史にこう書いてある。
関東の某選手から『上方野郎はだらしねえや』と痛罵を浴びる効果となつ。」と。

今年の春、先の述べた通り、私は桜橋の上から、下流浅草寄りの60年前明大と接触したと思うところを眺めたが、言問橋から桜橋までの間はカーブではなく、直線であった。

明大はカーブを利用して同志社コースを侵犯したと思っていた。まさか浅草側がカーブを埋めたとも思えず、長い間思い違いをしていたのに気づいた。

戦後桜橋が出来て、橋上からコースが正確に見渡せるようになったのである。水面すれすれのボートの上から見ていたのでは川の形状が見えなかつたのではないかと私は結論づけた。

それならばである。明大の直線コース侵犯はますます弁明の余地がない。もしかわらず失格が宣言されなかつた。

こんな話をいつか機会があればと考えたが、このレースに参加した人はも

皆鬼籍に入ってしまった。

戦後は関西のボート界は参加校も増え、実力も関東と対等になった。同志クルーは昭和43年のメキシコ五輪に日本代表として出漕したし、同志社京大も時々全日本優勝している。

昔日を顧みると実に感慨無量である。（1994.7.22）

この文章は某会に提出して賞をもらった作品です。多少事実と異なる点もありますが（高橋宗君ご指摘）、昔の物語としてお送りします。尚、過日桜を渡つて浅草側を吾妻橋辺りまで歩きますが、接触地点は戦後埋め立てられた直線になつたが、当時は浅草側に深く入り込んで、カーブしていたことを確認しました。

S13年卒 松川 寿久 先輩

前号「伝言板」にてS12年卒内藤さん、S16年卒平井君両氏の御健在聞いて嬉しく懐かしく存じます。平井君とは確か昭和30年代大阪の路上お会いしました。又、内藤さんはニチメン東京でお会いしましたのを覚えています。

ボート部時代のことを憶い出し、ボート部の活躍を祈つてやみません。

S26年卒 清水 裕 先輩

継続「力漕」第5号御送付誠にありがとうございます。生者必滅会者定離人の世とはえ、この深刻な衝撃から再撃。朝日レガッタに艇を湖上に浮かべることがきたのは誠に嬉しい。ボートはスポーツ。勝負を決する厳しい鍛錬が必要しよう。先ず漕ぐ前に泳げる訓練や装備は忘れずに。規律と信義は心の張りマナーは繰り返し繰り返し乗艇前に暗唱合唱すること。日々精進を祈りたい。

S 4 2 年卒 桜田 東士 先輩

① 「勝ちたい」のは君達だけではない。勝利への挑戦権は全ての人のものである。

② 「勝てる可能性」を持つことのできる者とは、目的のために自己に犠牲の強い、且つ困難を打破する知力を持つ者である。

③ 「勝つ自信」を持つことのできる者とは、人並み以上に練習や体力強化に努め、研究向上の実績を持ちながらも、尚且つ慢心せず、前進を続けるである。

④ 君達がこのような心構えで取り組めば、勝利は身近なものとなる。

S 5 2 年卒 萩野 義明 先輩

力漕も第5ナンバーということで、この継続とご努力に感謝します。我々の願いは強い同志社と現役学生の無事です。これらの実現の多くの要因は、現役の思考と努力の量と質にあると思います。

強くなる時には強くなるためには具体的な目標が必要です。○○レース勝つというのは目標ではない。プロセスにおける目標です。優れた他校をねることは恥ではありません。目標に部全体が心を一つに、努力の量と質を強化して下さい。子供が育つことを楽しむように、目を細めて見つめて下さい。

S 5 6 年卒 荒山 元秀 先輩

毎日の練習ご苦労様です。私も社会に出て、企業の中でのボート部時代からかった経験がすばらしい財産になっています。ボートも日進月歩。組織練習方法等も失敗も含めてトライして下さい。

私も今年40才。ベンチャー企業を創設して挑戦中！！お互い頑張ろ

名簿

役員名	氏 名	番号	住 所	TEL
部長	岡本博公	535-0022	大阪市旭区新森4丁目6番16号	06-6955-3633 研究室 075-251-3706
監督	山口忠博	525-0028	草津市上笠町4-30-25	077-563-5570
コーチ	堀内昭宏	662-0824	西宮市門戸東町3-60-202	0798-53-9616

《卒業生》

氏名	出身校	現住所・帰省先	TEL
和泉智彦 (工・物質科学)	基町	(現) 〒610-0117 城陽市枇杷庄島ノ宮98-1グレセントYU2-117 (帰) 〒739-2106 広島県東広島市高屋町稻木1524	075-662-5035 0824-34-1702
坂口健 (商)	宇和島東	(現) 〒601-8457 京都市南区唐橋琵琶町28番地双愛寮 (帰) 〒708-0002 愛媛県宇和島市大浦甲1771-46	0895-25-5689
玉置智雄 (商)	春日丘	(現) 〒567-0006 大阪府茨木市耳原3-3-4-202	0726-43-1654
綱島雄一郎 (文・社・産関)	同志社国際	(現) 〒631-0007 奈良県奈良市松陽台4-3-8	0742-41-4078
寺田忠則 (文・英文)	同志社国際	(現) 〒594-1105 大阪府和泉市のぞみ野1-25-2-605	0725-57-5508
牧之瀬寛 (工・電気工)	清風	(現) 〒630-0221 奈良県生駒市辻町25-34	07437-5-2831
石田あづさ (文・英文)	三島	(現) 〒569-1104 大阪府高槻市安満東の町3-14	0726-85-2125
河野宏美 (文・英文)	大聖寺	(現) 〒520-2132 大津市神領2丁目13-9奥村マンション101 (帰) 〒922-0834 石川県加賀市美谷が丘175	077-545-6857 07617-3-1307
中島千尋 (文・英文)	南	(現) 〒551-0012 大阪府大阪市大正区平尾1-9-9	06-6553-8610

《現役部員》

氏名		出身校	住 所	TEL
4回生	大山智司 (商)	初芝 富田林	(現)〒584-0036 大阪府富田林市甲田3-7-22-308	0721-23-2509
4回生	龜井健治 (経)	明法	(現)〒602-8407 京都市上京区大宮通上立売上ル西入ル 伊佐町213大川マンション201 (帰)〒184-0011 東京都小金井市東町1-16-4	0423-83-1848
4回生	北谷充 (商)	関西	(現)〒520-2134 大津市瀬田3-2-30	077-454-0702
4回生	小松正彦 (工・機能分子)	諏訪清陵	(現)〒610-0332 京田辺市興戸群塚38モアライフ北尾155	0266-53-5700
4回生	高橋輝 (経)	同志社国際 大	(現)〒520-2134 滋賀県大津市瀬田2-1-16	077-543-6650
4回生	若杉圭 (工・機能分子)	日大 習志野	(現)〒579-8061 大阪府東大阪市六万寺町2-1-22 岩田様方 (帰)〒272-0023 千葉県市川市南八幡4-18-18-201	0729-82-4571 0473-78-6587
4回生	赤坂知紗 (経)	親和女子	(現)〒663-8154 兵庫県西宮市浜甲子園1-1-4	0798-48-7460
4回生	殷麻衣 (商)	親和女子	(現)〒659-0067 兵庫県芦屋市茶屋ノ町2-10	0797-32-9619
4回生	田中真由子 (経)	新島学園	(現)〒602-8006 京都市上京区上長者町通室町西入ル 元土御門町522元土御門202 (帰)〒379-0221 群馬県碓氷郡松井田町新堀1114-4	075-451-0151 027-393-3308
3回生	井口順太 (経)	桜美林	(現)601-8047 京都市南区東九条下殿町43 MERUCURI OKI OTO 534 (帰)229-1132 神奈川県相模原市橋本台1-13-3	0427-73-8032
3回生	末広恭一 (文・社・産閑)	宇和島東	(現)〒520-2134 大津市瀬田3-2-30	077-545-0702
3回生	錢谷剛志 (工・物質科学)	札幌月寒	(現)〒666-0024 兵庫県川西市久台4丁目1-50官舎2号	0727-55-8507
3回生	高橋毅 (商)	大谷	(現)〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3-20-21	077-545-6846
3回生	田中範興 (文・文化史)	富山第一	(現)〒930-0912 富山県富山市日俣153-8	
3回生	宮本健吾 (工・電気工)	白陵	(現)〒659-0053 兵庫県芦屋市松浜町15-18	0797-34-5702
3回生	吉田亮 (法・政治)	奈良学園	(現)〒634-0845 奈良県橿原市中曾司町178-4	0744-24-5809
3回生	菊山峰子 (法・法律)	同志社 女子	(現)〒631-0032 奈良県奈良市あやめ池北3-7-13	0642-45-2902
3回生	津田弥紀 (文・英文)	智弁 和歌山	(現)〒611-0027 宇治市羽拍子町84ボーン宇治1601 (帰)〒649-6103 和歌山県那賀郡桃山町野田原467	0774-46-6283 0736-67-0355
3回生	中嶋紗恵子 (法・法律)	京都女子	(現)〒610-0111 京都府城陽市富野北角1-6	0774-52-1889

氏名	出身校	住 所	TEL	
2回生	菅野浩平 (文・教育)	桃山学院	(現)〒520-2134 大津市瀬田3-2-30 (帰)〒546-0031 大阪市東住吉区田辺6-7-16	077-545-0702 06-6628-5987
2回生	岸本光洋 (文・社・産閑)	膳所	(現)〒520-2143 大津市萱野浦9-15	077-543-4516
2回生	坂本暢裕 (商)	熊本学園	(現)〒520-2134 大津市瀬田3-2-30 (帰)〒869-1235 熊本県菊池郡大津町室569-1	077-545-0702 096-294-2294
2回生	竹内悠 (商)	関西	(現)〒520-2134 大津市瀬田3-2-30 (帰)〒700-0016 岡山県岡山市伊島町2-2-25	077-545-0702 086-255-4363
2回生	所淨伸 (文・教育)	加茂	(現)〒520-2134 大津市瀬田3-20-21 (帰)〒509-0315 岐阜県加茂郡川辺町比久見344-1	0774-53-3726 0574-53-3726
2回生	山田篤 (法・法律)	春日部	(現)〒611-0042 宇治市小倉町神楽田14-1ジュネス神楽田611 (帰)〒344-0007 埼玉県春日部市小渕320-8	0774-25-2674 048-754-5633
2回生	木村理恵子 (文・社会)	広島 女学院	(現)〒610-0332 京田辺市興戸久保43-1 (帰)〒739-0553 広島県佐伯郡宮島町515 レフィナード303	0774-65-4502 0829-44-2526
2回生	井上尚子 (神)	敬和学園	(現)〒606-0024 京都市左京区岩倉花園町381	075-724-2539
2回生	森田祥子 (文・英文)	大阪 女学院	(現)〒560-0872 大阪府豊中市寺内1-4-35	06-6864-3934

編集後記

同志社大学漕艇部の活動を記録し、また、日頃ご支援ご協力を頂いております諸先輩方、並びに各関係者の方々にその活動をよりよく知って頂き、交流を深めるべく創刊致しました部報「力漕」も、今回をもちまして第六号を迎えることが出来ました。

今年度は同志社大学漕艇部にとりまして、新しいスタートの年となりました。部員一同様々な気持ちを抱え、しかし皆一つの目標に向かい頑張っております。そんな思いを皆様に届けるべく、今回の力漕が出来上りました。ご助言、ご感想などございましたら、来年度の力漕に生かしてまいりますので、是非宜しくお願ひ致します。

最後になりましたが、第六号に際しまして、多大なるご理解、御協力下さいました諸先輩方、各企業の方々、また地元商店の方々に対しまして、厚くお礼申し上げます。

今後とも、ご支援ご指導賜りますよう、何卒宜しくお願ひ申しあげます。

同志社大学漕艇部

広報担当 田中 真由子
津田 弥紀

同志社大学体育会漕艇部部報「力漕」

1999年3月末日発行

発行者 同志社大学体育会漕艇部

〒520-0221滋賀県大津市瀬田3-2-30

TEL 077-545-0702

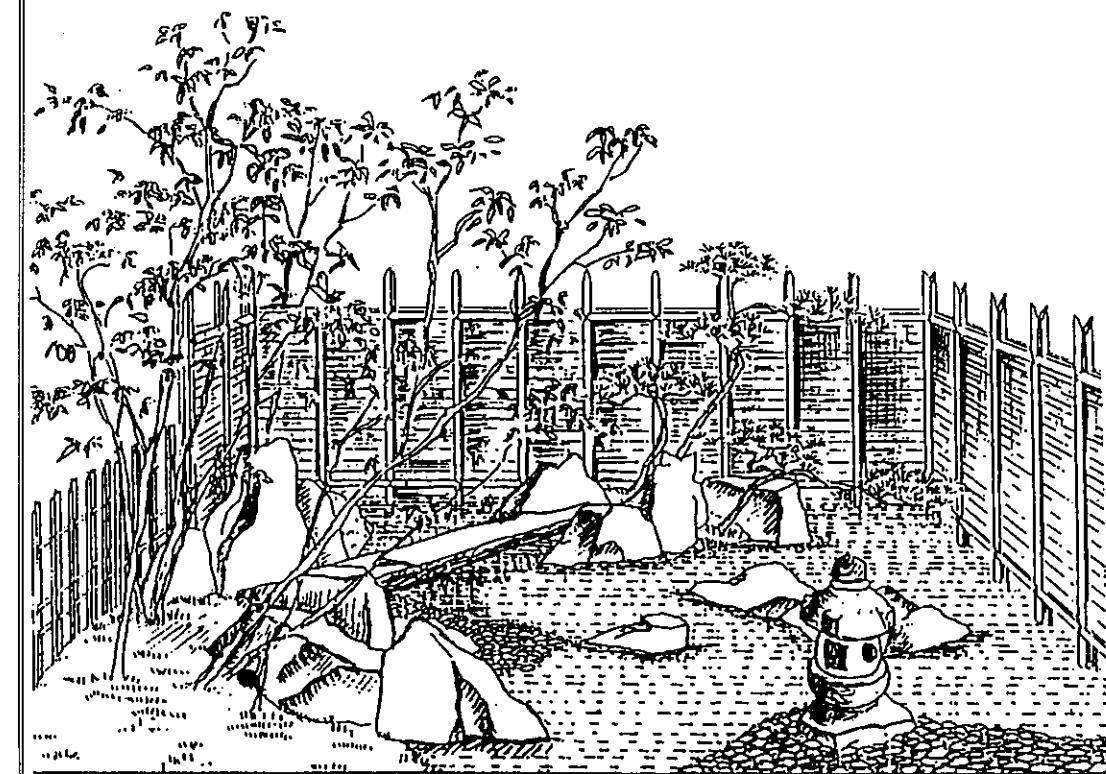
FAX 077-543-1194

広告掲載料振込先：滋賀銀行 瀬田支店 普通預金

口座番号 474219

同志社大学漕艇部「力漕」

代表 田中 真由子



暮しの中に、
心和ます、京の庭

特定建設業許可番号（特-3）第17252号

石豊造園土木株式会社

代表取締役 田中 安太郎

京都府久世郡久御山町中島20

☎ (075) 631-6959(代)

FAX (075) 632-1212



(株) 呉年

■営業品目

可鍛鋳鉄製品
バーライト可鍛鋳鉄
ダクタイル鋳鉄製品
鉄道車両部品
自動車部品
産業機械部品
碍子金具

△印管継手
スミコート継手
Kコア継手、KWコア継手
△ニップル
スミニップル
鋳物フランジ
その他の継手

本社 〒586-8528 大阪府河内長野市上原西町16番1号
TEL(0721)53-3121(代) FAX(0721)54-1814
TEL(0721)53-3141(代) FAX(0721)53-3148
東京支店 〒104-0047 東京都千代田区内神田3-4-11千代田共同ビル7F
TEL(03)5297-8221(代) FAX(03)5297-8222

2003年株式公開予定!!

全国の体育会系元気人間たちよ!



今の会社では不満なOBの方、力のあり余っている学生さん、大歓迎!!

今年は元気な体育会系大卒7名が入社し、ますます活気づいたこれからの会社です。

ポート

ポート

1981年3月 ~~工学部~~ 機械学科 卒業 荒山元秀が
「企業を元氣にする会社」を作りました。

将来性

マドックでは、21世紀に向けて「プロジェクト2003」計画をたて、売上を2003年には、1998年の10倍を目指し頑張ります。今後は、ISO9000の販売にも重点をおいて、1999年の伸長率540%を計画しています。これから時代にふさわしい商品の開発・販売を目的とした、21世紀に十分対応できる最先端の会社です。



プロフィール

プログラマー・営業・コンサル、大募集!

- 事業内容
コンピューターソフトウェア開発・販売、経営コンサルタント
- 会社プロフィール
設立: 平成7年1月18日 資本金: 1000万円 従業員数: 15名+7名



メッセージ

設立から4年、会社もスタッフも若く、仕事に情熱を持っています。お客様に本当に役立つシステムの開発とインストラクションが仕事です。経験・技術・資格などは問いません。ただ、何となく仕事をするより、熱中して取り組める毎日を送りたい、そんなあなたならきっと満足してもらえるでしょう。



興味のある人はぜひご連絡下さい。

株式会社マドック

担当: 総務部 (堀・篠原)

TEL 0724-69-6456
FAX 0724-69-6466

〒598-0047 大阪府泉佐野市りんくう柱来南3-7 KABビル10F

丸善宝飾

丸善宝飾株式会社

宝石・貴金属・オーダーメイド

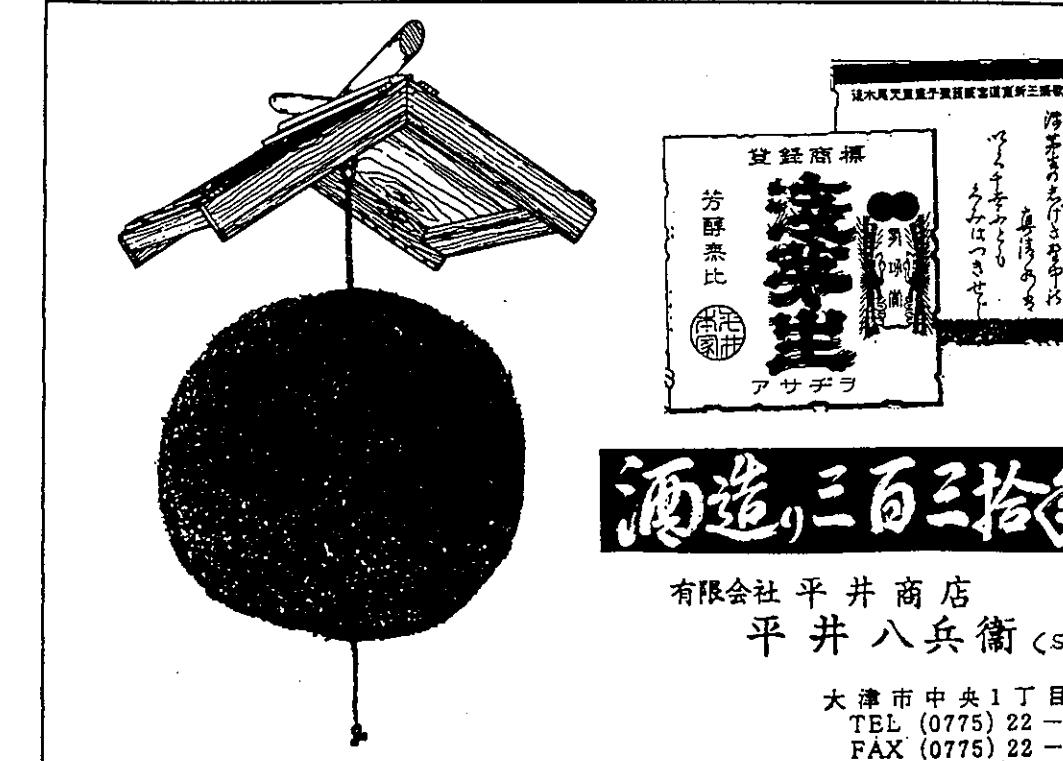
シエバード オーダー 丸善宝飾 阪神百貨店 4階特選サロモン
530大阪市北区梅田1-13-13 Tel.06-347-1151 Fax.06-347-1152

ブライダルジュエリー・引出物・記念品

ステッカーテン 丸善宝飾 私学共済店
ホテル大阪ガーデンパレス1階 (私立学校教職員共済組合大阪会館)
532大阪市淀川区西宮原1-3-35 Tel.Fax.06-392-1153

ステッカーテン 丸善宝飾 公立共済店

ホテルアワーカ大阪1階 (公立学校教職員共済組合大阪会館白所)
543大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12 Tel.Fax.06-771-5008



有限会社 平井商店
平井八兵衛 (S16年)

大津市中央1丁目2-33
TEL (0775) 22-1277
FAX (0775) 22-2250



大久保自動車整備工場

大阪陸運局指定民間車検工場
自動車整備・板金・塗装・板壳・保険代理店

兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話加古川(0794)37-1221㈹
FAX (0794)35-6181

本社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話加古川(0794)37-1600㈹
FAX (0794)35-6181

丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地
電話 丸亀 (0877)28-7004
FAX (0877)28-5162

お買物のたびにポイントがつき、1,000ポイントごとに1,000円分の
「大丸ポイントお買物券」とお引換えることができるクレジットカードです。



会員募集中

大丸ポイントカード

[大丸のポイントサービス] たとえば1年目ならお買上げ額の7%ポイントをプレゼント。
1,000ポイントごとに1,000円の「大丸お買物券」と交換できるシステムです。

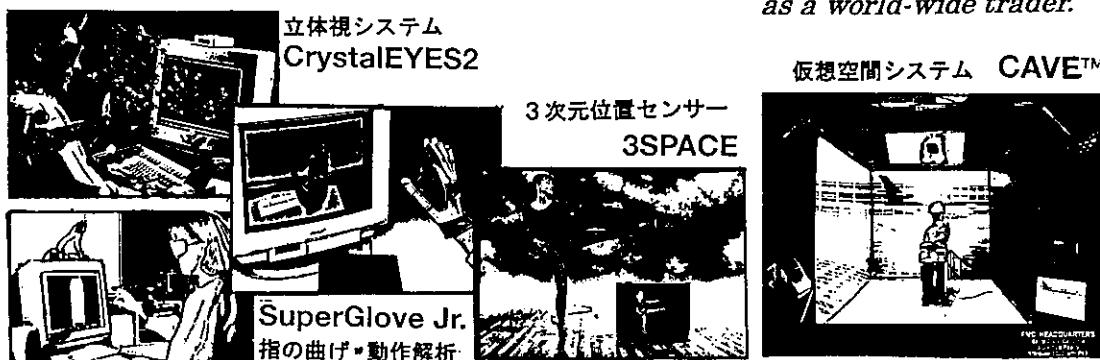
- 1 7%から最高10%のご優待ポイントをサービス。*一部除外品もございます。
- 2 特価品・バーゲン商品・食品・レストラン・喫茶にも3%のご優待ポイントをサービス。
- 3 ご来店いただけで10ポイントをプレゼント。*家族会員を含む一口座につき、1店舗1日1回限りです。
- 4 現金でのお買上げにも、カードをご提示いただくと、優待ポイントをサービス。
- 5 お買得情報のお知らせや、特別ご優待企画のごあんない。

ご入会お申し込みは

京都店: 7階クレジットサービスセンター
やましな店: 1階ギフトサロン



We introduce new technology of computer and communication



Company Data (3/31/1998) 資本金 66.4億円、従業員数 766名

売上高 500.8億円、経常利益 24.5億円、当期利益 11.5億円

Office 東京、大阪、名古屋、福岡、広島、札幌、仙台、静岡、高崎、高松、ほか
Nissho Electronics USA: Santa Clara CA

日商エレクトロニクス株式会社 関西支社 桜田東士 (昭和42年度OB)
TEL 06 (223) 3311、FAX 06 (222) 1865 E-mail: sakurada@nisshele.co.jp

ナカボ一株式会社

代表取締役 中島 俊一朗

本社: 〒541-0047

大阪市中央区淡路町3丁目6番14号

Tel: 06-202-2552 Fax: 06-202-2590

東京営業所: 〒107-0061

東京都港区北青山3丁目5番30号

Tel: 03-3423-2550

中島毛糸紡績株式会社 中島（珠海）毛紡廠有限公司

本社工場: 〒595-0033

廣東省珠海市珠海九州大道

大阪府和泉大津市板原370

与迎賓大道交界處

Tel: 0725-33-1101

Tel: 8880119 Fax: 880173

ナカボ一香港有限公司

Tel: 2362728 Fax: 2362560

Telex 45822 LAMB S HX



体力科学機器

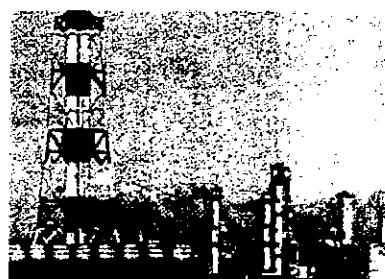
PHYSICAL

SCIENCE



理科機器

SCIENCE



産業科学機器

INDUSTRIAL

SCIENCE

八神国際貿易株式会社 〒460 名古屋市中区丸の内三丁目2番29号
TEL (052) 962-3811/FAX (052) 971-1398

YAGAMI INTERNATIONAL TRADING CO.,LTD.
HEAD OFFICE: NO.2-29, 3-CHOME, MARUNOUCHI, NAKA-KU, NAGOYA 460, JAPAN
TEL. (052) 962-3811 / FAX. (052) 971-1398 / TLX. 0444-7507 YAGAMI J
CABLE ADDRESS: "YRSCO", NAGOYA

♣ 赤川英株式会社

東京店／東京都千代田区三番街6-5 TEL 直通 (03)3265-2301(代)102
大阪本社／大阪市中央区南船場3丁目6-13 TEL (06) 252-3001(代)542
福岡店／福岡市博多区博多駅前1丁目11-27 TEL (092)451-1281(代)812
東京店／FAX (03)3237-8605 大阪本社／FAX (06)252-3564



■ 近くて便利な ■
南部自動車学校
☎0596-23-1155(代)

オートザム伊勢
〒519-05 三重県度会郡小俣町元町1648-10
AUTOZAM TEL:0596-27-3236 FAX:0596-27-3706

大東自動車株式会社



ヴィーア 日商

株式会社 ヴィーア日商
〒464 名古屋市千種区今池南29番10号
川島第2ビル205号
TEL 052-741-1266 FAX 052-741-1299

代表取締役

殷 宅 基

鉄鋼・建材・各種ルーフ・
ウォール・成型加工

松井金属工業株式会社

本 社 〒600 京都市下京区高辻通柳馬場東
入雁金町162 TEL 075-361-9341
守山営業所 〒524 滋賀県守山市吉身四丁目3-19
TEL 0775-82-3611
舞鶴営業所 〒624 舞鶴市宇上福井84
TEL 0773-76-2281
久御山営業所 〒613 京都府久世郡久御山町大字田井小字
新荒見181 TEL 0774-44-7131



京阪シルク株式会社

代表取締役

新 井 喜 範

京都市下京区五条通西洞院東入
電話 075-351-2340(〒600)
FAX 075-351-4352

WOOD LIVES

「木」を愛し、「木」を活かす

—OMIZOが誇る工業技術。



OMIZO

大溝工業株式会社

代表取締役 阪田 良之助

木材製品、新規材、製造販売
一般建築業(建築・大工・内装仕上工事)
宅地建物取引業

本 社 滋賀県高島郡高島町大字勝野
(〒520-111)
TEL(0740)36-0030
FAX(0740)36-1213

丸山法律事務所

大阪市北区西天満2-10-2
幸田ビル10F

丸山 英敏

TEL 06 (6365) 6188

日本酒とビール
ウイスキーの店

北井酒店

瀬田商店街

TEL 0120-45-2113
FAX 43-0220

加藤内科胃腸科

院長 加藤三郎

	午前	午後	月	火	水	木	金	土
午前	9:00 ~ 12:00		○	○	○	/	○	○
午後	5:00 ~ 8:00		○	/	○	/	○	/

休診: 木・日曜日、祝祭日、火・土曜日の午後
※但し火曜日の午後 1:00-5:00 迄は
予約検査を致します。

☆ 来院時には、診察券を必ずご持参下さい。
☆ 毎月初めには、保険証をお出し下さい。

大津市神領二丁目39-3
(近鉄大社東側)

TEL 大津 (0775) 45-8810

オリジナルチームウェアショップ

5着から出来ます。デザイン料無料。
出来上がりまで約10日間～。

ITEM LINE-UP

- ・スウェットシャツ・パーカ・各種ウインドブレーカー・キャップ
- ・スタジアムジャケット・ウェイティングコート・クラブバッグ・ETC.



CLUB GALLERY 1/80

河原町OPA店 8F

075-231-7484

カタログ請求は、上記ショップまで。

そば・一品料理

あ づま
吾 婦

大津市瀬田1丁目19-31

TEL 077-545-0011

パチンコ

石山オメガ

077(533)2536

ご予約を
お待ちして
あります。トラン

1,800円
コース
2,400円
コース
3,000円
コース

ロビンソン
醉虎伝

SUIKODEN®

プラス +1,200円で飲み放題!

077-533-2537

FOOD SHOP

waco

和晃商事株式会社

神領店／滋賀県大津市神領3丁目8-5

TEL. (077) 545-2051

FAX. (077) 545-2087

—アルバイト募集中—

shot bar & glutton club
EASY ALL

大津市螢谷706-4

077 (537) 6627・6628


ほりい矯正歯科クリニック

日本矯正歯科学会認定医

堀井和宏

077-533-3741

カフェ
レストラン アドリア

湖岸道路唐橋下ル
TEL (0775) 37-1439

チャンコ鍋、大皿料理

なべや

万里也別館サンマリエビル4F
(割烹料理万里也前)
TEL 0775(37) 0523

割烹料理・お食事処



万里也

〒520 大津市石山栄町2-4
Phone(0775)37-0523

●営業時間／正午より ●定休日／月曜日 ●駐車場完備

カフェレストラン アドリア 湖岸道路瀬田唐橋西詰下ル
でんわ (0775) 37-1439

(有)野口山陽堂

 LAWSON

瀬田1丁目店

大津市瀬田1-16-18

077-545-0023

焼き肉のフルコース世界一周
スタミナ料理・近江牛焼き肉

福鹿門

探偵ナイトスクープ他出演店
本店 滋賀県大津市栄町17-1
077-537-1319

歯科・小児歯科・矯正歯科

おかだ歯科医院

滋賀県大津市鳥居川町4-15

TEL (077) 537-0177

FAX (077) 537-0305

証明写真・記念写真・出張撮影

コマイ写真館



石山・京都信用金庫前
(松原バス停前)

□(FAX) 537-3122

shot bar & glutton club
EASY ALL

政府登録国際観光旅館



びわ湖瀬田川畔

あみ舟 あみ足
元祖

あみ定

大津市唐橋町23-1
TEL (0775) 37-1780代
FAX (0775) 37-1791

自転車専門店
タナカサイクル

大津市松原町12-6 (びわこサイクルのななめ前です。)
TEL 077-534-0888

ミスター ドーナツ 石山駅前店

大津市栗津6-3
077 (534) 3988

Marguerite
ヤマダヤ
石山店 077 (537) 1047
膳所店 077 (526) 1047

ブルート メンズサロン

大津市栗津9-23
077 (534) 1736

大阪日産自動車株式会社

大阪市福島区福島4-3-22
06 (6446) 2323 (代)

お好み焼・鉄板焼 霞

メニュー豊富・お持ち帰りOK
077 (545) 4141

セイコーマート むらた

大津市瀬田1丁目15-3
077 (548) 2801

Cattlrum TANBA

大津市瀬田1丁目16-8
077 (545) 0226

F

滋賀県大津市栗津町10番2号

KARAOKE HOUSE

Bijoux

077-534-6994

パーラーオーロラ

大津市栗津町6-4
077(533)4060

ABアースしが

[滋賀県青年会館]

セミナー・ご宿泊ご会食にご利用下さい
077(537)2753

-64-

無条件、
幸福◎



うまい・ドライ・爽快

タカラ レモンC チューハイ

ビタミンCたっぷり
(レモンC)新登場

お酒は20歳を過ぎてから。 宝酒造株式会社

Takara

